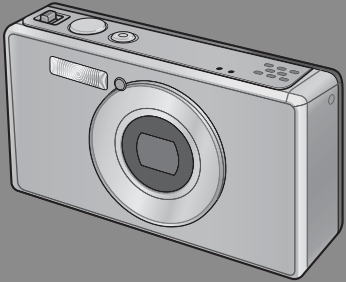
RICOH

RICOH PX

使用説明書 カメラ編



本製品のシリアル番号は、
本体底面に記載されています。

基本編

はじめてお使いのときは必ずお読みください。

電源を入れる、撮影する、再生するなど、はじめてこのカメラをお使いの方でも一通り操作できるようになります。

応用編

目的に応じて必要なときにお読みください。

いろいろな撮影機能や再生機能のほか、カメラのカスタマイズ、プリントの方法、パソコンを利用する方法など、このカメラのすべての機能が記載されています。

付属の電池は、使用する前に充電する必要があります。ご購入時の電池は、充電されていません。

お客様登録のお願い

この度は、リコー製品をお買い求めいただきありがとうございます。リコーは、ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

お客様登録は、下記の弊社 Web サイトからお願いいたします。

http://www.ricoh.co.jp/dc/regist/

なお、ご登録いただいた方には、E メール（ファームウェアなどのサポート情報掲載）の配信を行っております。

リコーフォトギャラリー RING CUBE

RING CUBE は、いつでも、気軽に、より多くのみなさんに参加していただくためのフォトギャラリーです。

8F ギャラリースペースでは、プロ・アマを問わず多彩なジャンルの写真展を開催。

9F には歴代のリコーカメラや新製品を展示しているほか、ワークショップスペースにて各種セミナーを実施しています。お気軽にご利用ください。

http://ringcube.jp/

東京都中央区銀座 5-7-2
三愛ドリームセンター 8F/ 9F（受付 9F）
開館時間：11:00 ～ 20:00（火曜日休館）
お問い合わせ：03-3289-1521

はじめに

この使用説明書には、本カメラを使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。
本カメラの機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、すぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。
テスト撮影について	必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。
著作権について	著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽などの著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変などすることは禁じられています。
ご使用に際して	万一、本カメラなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書について	本カメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
電波障害について	他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、以下のようにしてください。 ・テレビやラジオなどからできるだけ離す ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える ・コンセントを別にする 〈電波障害自主規制について〉 この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 使用説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って発生する可能性がある内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

❗	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
⊘	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⊘の中に具体的な禁止内容が描かれています。 ●表示例 ⊘意味：接触禁止　⊘意味：分解禁止

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 危険

⊘	●カメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。
⊘	●電池を分解、改造、直接ハンダ付けしたりしないでください。
⊘	●電池を火の中に投入したり、加熱したり、火のそばや車の中など温度が高くなる場所で使用したり、放置しないでください。
⊘	●電池に釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
⊘	●外傷、変形の著しい電池は使用しないでください。
⊘	●電池の（＋）と（－）を針金等の金属で接続しないでください。また、金属製のボールペンやネックレスなどと一緒に携帯したり、保管しないでください。

●電池は、弊社専用 USB ケーブルまたは充電器を使用して充電してください。また、弊社の DB-100 対応デジタルカメラ以外にはご使用にならないでください。

●異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは、すぐに使用をやめてください。修理は、お買い上げ店またはリコーサービス窓口にご依頼ください。

●電池が漏液して液が目に入った時には、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

●万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてリコー修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。

●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池とメモリーカードを取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてリコー修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。

●画像モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。

●電池の液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。
- この製品で指定している電池以外は、使用しないでください。
- 金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 使用中や充電中、液漏れしたり、異臭がする、変色するなどの異常がある場合は、ただちにカメラや充電器から取り外し、火気から遠ざけてください。

🚫	●電池の充電による火災、感電、破裂の防止のため、次のことをお守りください。 ・表示された電源電圧以外の電圧を使用しないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。 ・USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。 ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。 ・布などに包んで使用しないでください。
❗	●この製品で使用している電池や SD メモリーカードを誤って飲み込むことがないよう、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。ただちに医師と相談してください。
🚫	●この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。
	●落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り出してください。破損したときは、お買い上げの店またはリコー修理受付センターに連絡してください。
	●台所などの湯煙があたるところや湿気のあるところで使用するときは、カメラの内部を濡らさないよう注意してください。火災や感電の原因となります。
🚫	●引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。 ●航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。
❗	●電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。
🚫	●海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに充電器を接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
🚫	●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
🚫	●USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものを載せたり引っ張ったり、無理に曲げたりすると、USB ケーブルをいため、火災や感電の原因になります。
🚫	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

● 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。USB ケーブルを引っ張らないでください。USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

● 万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店に連絡してください。火災や感電の原因になります。
● 使用中に異常な音がするとき、煙が出るときなどの不具合がある場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げ店またはリコーサービス窓口まで連絡してください。機器が故障したり、不具合のまま使用しないでください。

● 自分で分解しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

● 電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。

● 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。

● 電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。

● 電池が漏液したり異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。

⚠ 注意

● 電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。（せっけんは使用しないでください）
また、液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

● 電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。

● 車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。

● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
● ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 布などに包んで使用しないでください。火災の原因になります。
● 端子部や USB ケーブルの金属部をショートさせないでください。火災の原因になります。

別売り品について	別売り品をお使いになるときには、各製品の使用説明書を操作の前に必ずお読みください。

使用説明書の構成について

RICOH PX には、以下の 2 種類の使用説明書が付属しています。

<table>
<tr><td rowspan="2">
</td><td>『使用説明書（カメラ編）』（本書）</td></tr>
<tr><td>カメラの使い方や機能を説明しています。また、付属ソフトウェアをパソコンに入れる（インストール）方法についても説明しています。</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDF ファイル）</td></tr>
<tr><td>カメラの画像をパソコンに取り込む方法について説明しています。
『使用説明書（ソフトウェア編）』は、本カメラの内蔵メモリー内の「MANUAL」フォルダに収録されています。

各言語の『使用説明書（ソフトウェア編）』が収録されています。

使用説明書をパソコンにコピーするには、カメラとパソコンを USB ケーブルで接続します。詳細は P.89 を参照してください。

</td></tr>
</table>

本カメラの内蔵メモリーには、パソコン内の画像を表示したり、編集したりできるソフトウェア MediaBrowser（Windows 専用）が付属しています。MediaBrowser の使い方については、MediaBrowser のオンラインヘルプを参照してください。MediaBrowser についてのご質問･ご相談は、下記ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター

フリーダイヤル：0120-727-231
TEL：06-6633-2990（携帯・PHS 等フリーダイヤルが利用できない方用）
FAX：06-6633-2992
〒 556-0011
大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70 パークスタワー 25F
受付時間：月曜日～日曜日　10：00 ～ 18：00
（年末年始、祝日、弊社指定休日は除く）
また以下のページで、MediaBrowser の最新情報が閲覧できます。
http://www.pixela.co.jp/oem/mediabrowser/j/

もくじ

応用編 37

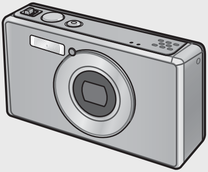
基本編

はじめてお使いのときは必ずお読みください

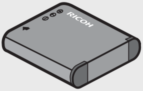
パッケージを確認する

パッケージを開けて同梱品を確認しましょう。
※同梱品の形状は、実際とは異なる場合があります。

- **RICOH PX**
  本製品のシリアル番号は、
  本体底面に記載されています。



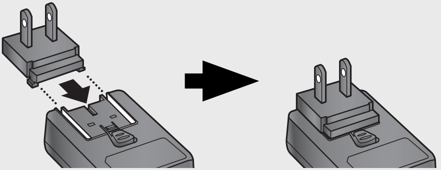
- **電池（DB-100）**



- **USB ケーブル**
- **USB 電源アダプター**
- **電源プラグ**
- **ハンドストラップ**
- **使用説明書（カメラ編）**

メモ --

電源プラグの取り付け方
USB 電源アダプターを初めて使用する場合は、電源プラグを USB 電源アダプターに「カチッ」と音がするまで取り付けてください。



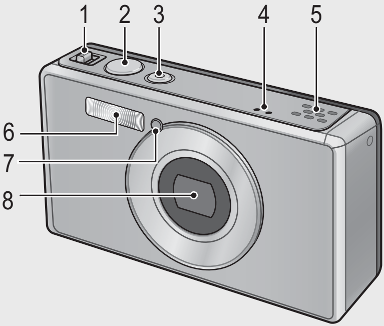
別売り品について

- **電池（DB-100）**
- **充電器（BJ-10）**
- **AV ケーブル（AV-1）**
  テレビと接続して再生するときに使用します。
- **HDMI ケーブル（HC-1）**
  HDMI 対応のテレビと接続するときに使用します。
- **プロテクションジャケット(PJ-1)**
  本カメラ用のジャケットです。傷などを防げます。
- **ネックストラップ（ST-4）**
  ショートストラップがセットになった一点吊 2WAY ネックストラップです。

カメラの各部の名称

カメラ本体

前面

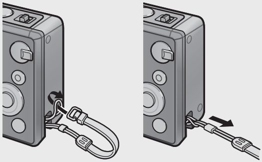


	名称	参照先
1	ズームレバー [♠]（望遠）／[♠]（広角） Q（拡大表示）／▦（サムネイル表示）	P.28、31、33
2	シャッターボタン	P.27
3	POWER（電源）ボタン／インジケーターランプ	P.24、23
4	マイク	P.45
5	スピーカー	P.46
6	フラッシュ発光部	P.29
7	AF 補助光／セルフタイマーランプ	P.80、30
8	レンズ	－

メモ --

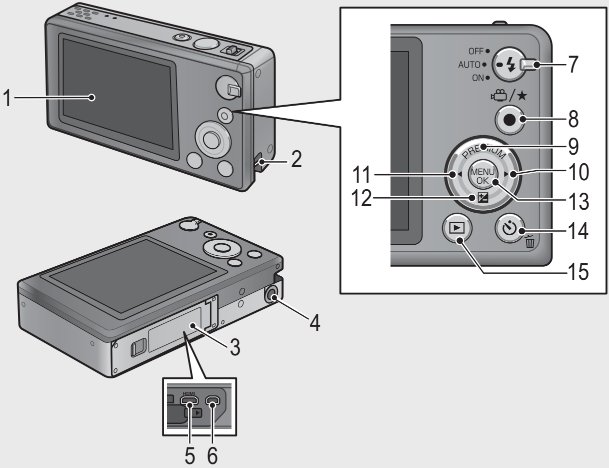
ハンドストラップ・ネックストラップの付け方

ストラップの先端をカメラのストラップ取り付け部に通して取り付けます。ネックストラップは先端を結合部より外し、図のように取り付けます。



- 別売り品についての最新情報は、弊社ホームページ（http://www.ricoh.co.jp/dc/）をご覧ください。

背面



	名称	参照先
1	画像モニター	P.17
2	ストラップ取付け部	P.14
3	電池／カードカバー	P.20、69、90、94、96
4	三脚ネジ穴	—
5	HDMI マイクロ出力端子（Type D）	P.69
6	USB・AV OUT 兼用端子	P.22、69、90、94、96
7	フラッシュダイヤル	P.29
8	🎥（動画）／★（お気に入り）ボタン	P.45、32、43、44
9	PREMIUM ／上ボタン	P.40
10	▶（右）ボタン	—
11	◀（左）ボタン	—
12	☒（露出補正）／下ボタン	P.30、39
13	MENU/OK ボタン	P.36、71、75、78
14	⏲（セルフタイマー）／ 🗑（削除）ボタン	P.30、34
15	▶（再生）ボタン	P.31

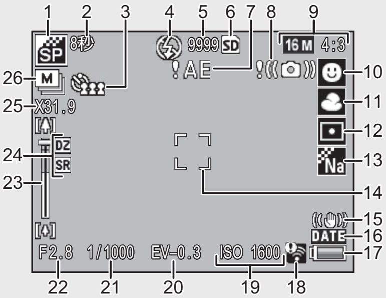
(※) 本文中の「▲▼◀▶ を押す」という説明は、上下左右ボタンを ▲(上) ▼（下）◀（左）▶（右）の方向に押すことを意味します。



画像モニターの表示

撮影するときの画面

静止画撮影時



	名称	参照先
1	プレミアムショットのモード	P.38
2	［打ち上げ花火］の露光時間設定	P.38
3	セルフタイマー	P.30
4	フラッシュのモード	P.29
5	残り記録枚数	P.110
6	記録先	P.21
7	露出警告マーク	P.101
8	手ブレ注意マーク	P.50
9	画像サイズ	P.72
10	フォーカスモード	P.48
11	ホワイトバランスモード	P.51
12	測光モード	P.72
13	画像設定	P.52

	名称	参照先
14	AF 枠	P.48
15	手ブレ補正	P.50
16	日付入れ撮影	P.55
17	電池マーク	P.19
18	Eye-Fi 通信	P.19
19	ISO 感度	P.56
20	露出補正	P.30
21	シャッタースピード	P.106
22	絞り値	P.106
23	ズームバー	P.28
24	超解像ズーム、デジタルズーム	P.28、57
25	ズーム倍率、オートリサイズズーム	P.28、57
26	連写モード	P.53

動画撮影時



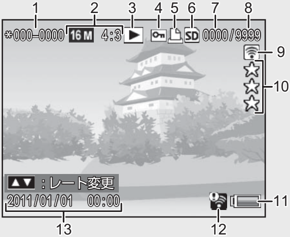
	名称	参照先		名称	参照先
27	録画中マーク	P.45	29	残り記録時間	P.110
28	記録時間	P.110			

メモ --

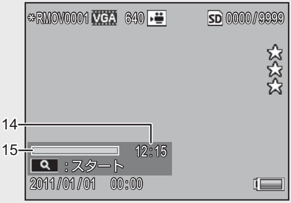
残り記録枚数が 1 万枚以上のときは「9999」と表示されます。

再生するときの画面

静止画モード



動画モード



	名称	参照先		名称	参照先
1	ファイル番号	ー	9	Eye-Fi 転送済み	P.19
2	画像サイズ	P.72	10	お気に入りレート	P.32
3	モードの種類	ー	11	電池マーク	P.19
4	プロテクト	P.65	12	Eye-Fi 通信	P.19
5	DPOF	P.66	13	撮影した日付	P.25
6	再生元	P.21	14	記録時間または経過時間	ー
7	再生ファイル数	ー	15	インジケーター	ー
8	総ファイル数	ー			

メモ

- 画像モニターの右下に、電池の残量を示すマークが表示されます。

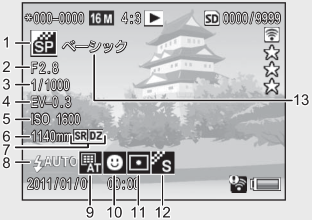
電池マーク	説明
緑色	電池の残量はまだ充分あります。
	電池の残量が減りはじめました。充電をお勧めします。
	電池の残量がわずかになりました。充電してください。

- Eye-Fi カード（☞P.22）を使用しているときは、撮影画面と再生画面に通信状態が表示されます。転送済みの画像には マークが表示されます。

マーク	状態	マーク	状態
	未接続		中断
	接続中		Eye-Fi カード情報取得エラー *
	転送待機中		
	転送中		

* 電源を入れなおしてください。繰り返し表示される場合は、カードの異常が考えられます。

- クイック再生メニューの［表示情報変更］で［詳細表示］を選ぶと、撮影時の詳細情報を表示できます（☞P.36）。



	名称	参照先		名称	参照先
1	撮影モード	ー	8	フラッシュのモード	P.29
2	絞り値	P.106	9	ホワイトバランス	P.51
3	シャッタースピード	P.106	10	フォーカスモード	P.48
4	露出補正	P.30	11	測光モード	P.72
5	ISO 感度	P.56	12	画像設定	P.52
6	ズームの焦点距離	P.28	13	ソフトフォーカス設定／色調／周辺減光／トイカラー	P.73、74
7	超解像ズーム、デジタルズーム	P.28、57			

準備をする

電源を入れて撮影できるように準備します。

電池と SD メモリーカードをセットする

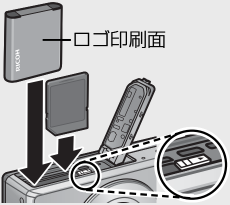
カメラの電源がオフになっていることを確認してください。

1 電池／カードカバーのつまみを矢印の方向にスライドさせて開ける

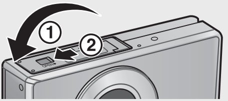


2 SD メモリーカードと電池を挿入する

- 電池／ SD メモリーカードの向きに気を付けて、「カチッ」と音がするまで挿入してください。電池の向きを間違えると、電源はオンになりません
- 電池がセットされると、図のツメでロックされます。



3 電池／カードカバーを閉じて、つまみを矢印の方向にスライドさせる



電池を取り出すときには

電池／カードカバーのつまみをスライドさせて開けます。電池をロックしているツメをずらすと電池が押し出されますので、つまんで取り出します。このとき電池が落下しないよう十分に注意してください。

SD メモリーカードを取り出すときには

電池／カードカバーのつまみをスライドさせて開けます。SD メモリーカードを一度押し込んで指を静かに離すと SD メモリーカードが押し出されますので、つまんで取り出します。

注意 ---

- 電池／カードカバーを確実に閉めてください。水や埃がカメラ内部に入ることがあります。

- 電池／カードカバーを開閉する場合、カメラに付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所を避けて開閉してください。
- 電池、および SD メモリーカードをセットするときは、挿入する向きを間違えないようご注意ください。向きを間違えたまま無理に電池／カードカバーを閉じると、カメラ本体や電池、SD メモリーカードを破損する恐れがあります。

電池について

本カメラでは、専用のリチウムイオン電池「DB-100」（付属）を使用します。当社指定の電池以外は使用しないでください。

注意

- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 長期間カメラをご使用にならない場合には、電池を抜いてカメラを保管してください。
- バッテリーを廃棄するときは、その国・地域における適切な方法に従って廃棄してください。

SD メモリーカード（市販）について

本カメラで使用できる SD メモリーカードは、SD メモリーカード、SDHC カード、Eye-Fi カード（以後「SD メモリーカード」）です。SDXC カードは使用できません。

SD メモリーカードがカメラにセットされている場合、SD メモリーカード（SD）を使用してファイルの記録・再生を行います。SD メモリーカードがセットされていない場合、内蔵メモリー（IN）が使用されます。

初期化について

新しい SD メモリーカードや、他の機器で使用した SD メモリーカードを使用する場合、本カメラで初期化してからお使いください。初期化すると画像は削除されます。削除したくない画像があるときは、パソコンなどに画像をコピーしてから初期化を行ってください。SD メモリーカードの初期化はセットアップメニュー（☞P.78）の［初期化〔カード〕］（☞P.83）で行えます。Eye-Fi カードの場合、初期化前にカード内のソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

Eye-Fi カードについて

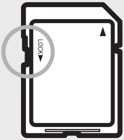
本カメラでは、無線 LAN 機能を内蔵した SD メモリーカード「Eye-Fi カード」（X2 シリーズ）が使用できます。Eye-Fi カードの詳細は、Eye-Fi のホームページ（http://www.eyefi.co.jp）を参照してください。

注意

- SD メモリーカードがセットされているときは、SD メモリーカードがいっぱいになっても、内蔵メモリーには記録されません。
- SD メモリーカードの金属端子部を汚さないように注意してください。
- 本製品は、Eye-Fi カードの機能（無線送信を含む）を保障するものではありません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fi カードが使用できるのは、購入した国の国内のみです。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

誤って記録データを消さないようにするには

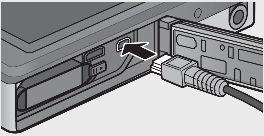
カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくと、記録データの削除や初期化ができなくなります。なお、「LOCK」の状態にすると SD メモリーカードへの記録もできなくなるので、撮影ができません。撮影時には「LOCK」を解除してください。



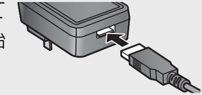
電池を充電する

電池は、使用する前に充電する必要があります。

充電するには、USB 電源アダプターを使用してコンセントから充電する方法と、パソコン本体の USB 端子に接続して充電する方法があります。どちらの場合も、カメラの電源をオフにしてから、付属の USB ケーブルをカメラの USB・AV OUT 兼用端子に接続してください。

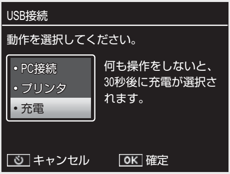


コンセントから充電する



USB ケーブルに USB 電源アダプターを接続してコンセントに差し込むと、自動的に充電が開始されます。

パソコンと接続して充電する



パソコンと接続した場合、画面モニター上に接続先の選択肢が表示されます。[充電] を選択して、MENU/OK ボタンを押してください。[充電] 以外を選択した場合は充電されません。

メモ

- 充電が開始されるとカメラのインジケーターランプが点滅します。インジケーターランプの表示は下表のとおりです。

インジケーターランプ	説明
点滅（約 1 秒間隔）	USB 充電中
消灯	充電完了
5 秒間点滅（約 0.5 秒間隔）後に消灯	充電エラーまたは電池がセットされていない

- 電池の充電時間の目安は、コンセントから充電する場合は約 160 分、パソコンから充電する場合は約 240 分です（25℃の場合）。電池の状態（温度、残量）、カメラやパソコンの動作状態により異なります。
- パソコンから充電する場合は、以下の点にご注意ください。
  - カメラとパソコンの接続後、何も操作せずに 30 秒以上経過すると、自動的にカメラの充電が開始されます。
  - パソコンの電源がオフまたはスタンバイの場合は、充電されません。
  - 電池をカメラにセットしたまま長期間放置した状態から充電が開始された場合、画像モニター表示や充電に時間がかかる場合があります。その場合はコンセントから充電してください。

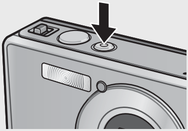
注意

- 付属の USB 電源アダプター、USB ケーブル以外は使用しないでください。
- 充電中は強い衝撃を与えないでください。
- 極端に暑いところや寒いところ、振動の激しいところでは充電しないでください。

- 直射日光の当たるところや、高温になるところで充電しないでください。
- 充電終了後は、ケーブルを抜いてください。そのままにしておくと火災の原因になることがあります。
- 充電式電池の接続部や接点部に他の金属が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- 充電時の温度範囲は 10℃～ 40℃です。10℃～ 15℃でご使用になると、充電が長時間になる場合があります。10℃以下でご使用になると、充電が長時間になる、または充電できない場合があります。
- パソコンから充電する場合は、以下の点にご注意ください。
  - パソコン本体の USB 端子に直接接続してください。
  - 充電中は、カメラ内の SD メモリーカードも書き込みできません。
  - 充電中にカメラにアクセスすると、充電時間が長くなる場合があります。
  - 充電中にカメラの POWER（電源）ボタンを押すと、充電を中断してカメラの電源がオフになります。

電源をオン／オフする

電源をオン／オフするには、POWER（電源）ボタンを押します。オンにすると起動音が鳴り、画像モニターが点灯して撮影モードになります。



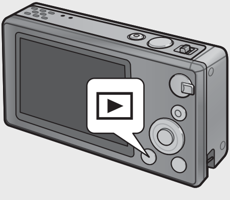
オンの状態で POWER ボタンを押すと、その日の記録枚数が表示され、電源がオフになります。

メモ --

日時設定をしていない場合は、記録枚数は［0］と表示されます。

再生モードで使うときには

▶（再生）ボタンを長押しすると、再生モードの状態で電源がオンになり、カメラを再生モードで使用できます。



▶ ボタンで電源をオンにした場合は、もう一度 ▶ ボタンを押すと、電源がオフになります。

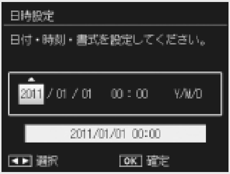
スリープモードとオートパワーオフについて

- 一定時間操作しないと、節電のために画面が暗くなる（スリープモード）または電源がオフ（オートパワーオフ）になります。
- スリープモード（☞P.81）とオートパワーオフ（☞P.81）の設定時間はセットアップメニュー（☞P.78）で変更可能です。

日時を合わせる

はじめて電源をオンにしたときは、日時の設定画面に進みます。

◀▶ で年･月･日･時･分･書式を選択し、▲▼で値を設定してください。



MENU/OK ボタンを押すと、確認画面が表示されます。再度 MENU/OK ボタンを押すと日時が設定されます。

メモ

- 撮影設定メニュー（☞P.71）の［日付入れ撮影］（☞P.73）を［日付］または［日時］に設定すると、日時を入れて撮影することができます。
- 日時を保持させるためには、充分に残量のある電池をカメラに 2 時間以上セットしてください。
- 電池を取り出してから約 1 週間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。
- 設定した日時はセットアップメニュー（☞P.78）の［日時設定］（☞P.82）で修正できます。

かんたんな撮影

準備ができたら、さっそく撮影してみましょう。

ピントを合わせて撮る（通常撮影）

カメラの電源をオンにすると、通常撮影モードになります。通常撮影では、カメラが自動的に周囲の状態に合わせて最適な設定を行います。

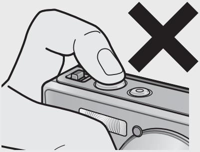
シャッターボタンを押す操作は、2 段階になっています。シャッターボタンを半押しすると、自動的にピント合わせが行われ、さらにシャッターボタンを押し切ると撮影されます。

フォーカス設定を変更して撮影することもできます（☞P.48）。自動でピントが合わせにくい場合などにおすすめです。

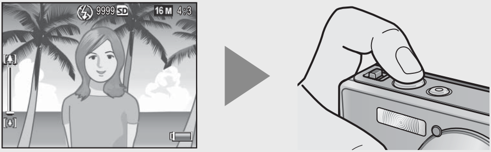
1 カメラを両手でしっかりと持ち、両ひじを軽く身体に付ける



- 指や髪、ストラップなどがレンズやフラッシュ発光部、AF 補助光窓にかからないように注意してください。



2 画像モニターの中央に被写体を合わせ、シャッターボタンを半押しする



- ピント合わせが行われ、露出とホワイトバランスが固定されます。
- 人物の顔を認識すると、優先してピントを合わせます。
- 最大 9 点で測距され、どの位置にピントを合わせているかが、緑の枠で表示されます。

3 シャッターボタンをそのまま静かに押し切る

- 撮影した画像が画像モニターに表示され、内蔵メモリーまたは SD メモリーカードに保存されます。

メモ ---

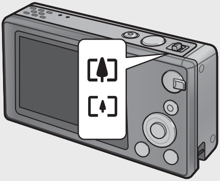
プレミアムショット（☞P.38）を使用した場合、カメラの電源をオフにしてもプレミアムショットのモードが保持されます。通常撮影モードに戻したい場合は、プレミアムショット撮影画面で ◀▶ を押します。

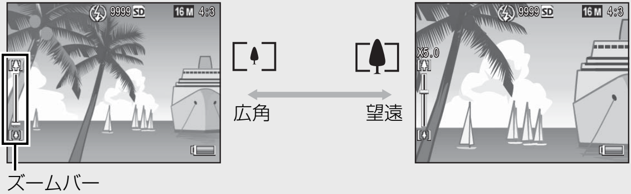
接写（マクロ撮影）について---

通常撮影モードでは、カメラを被写体に接近させると、自動的にマクロ撮影となり、被写体を大きく撮影できます。より被写体を大きく撮りたいときには、プレミアムショットの[拡大鏡]を使います（☞P.38）。

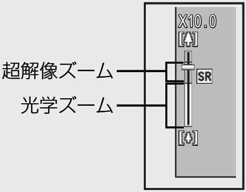
ズームを使って撮る

ズームレバーを [♠]（望遠）側に倒すと、被写体を大きく写すことができます。ズームレバーを [♠]（広角）側に倒すと、広い範囲を写すことができます。ズームの状況は画像モニターのズームバーと倍率表示で確認できます。





ズームバーの白の部分は光学ズーム（最大 5 倍）、緑色の部分は超解像ズーム（最大 2.0 倍）です。超解像ズームを使用しているときは SR が表示され、倍率は緑色で表示されます。超解像ズームでは、画質の劣化を抑えてズームします。

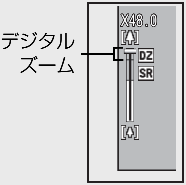


メモ

超解像ズームは、セットアップメニュー（☞P.78）の［デジタルズーム切替］（☞P.82）を［通常］に設定すると、有効になります。

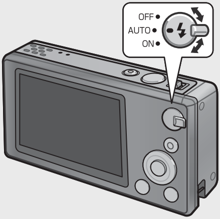
デジタルズームを使う

撮影モードや設定している撮影設定メニューによっては、ズームバー表示が黄色い部分にきた状態でいったんズームレバーから指を離し、再びズームレバーを [♠] 側に倒すと、デジタルズームを使用できます（☞P.57）。



フラッシュを使って撮る

フラッシュダイヤルで、フラッシュモードを切り替えます。
画像モニター上部にフラッシュモードのマークが表示されます。



OFF		フラッシュを発光しません。
AUTO		自動的にフラッシュを発光します。
ON		フラッシュを発光します。

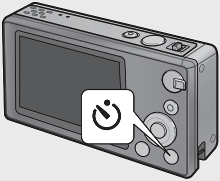
注意

- フラッシュ充電中は、画像モニター上のフラッシュモードのマークが点滅します。充電中（約 5 秒間）は撮影できません。充電が完了するとマークの点滅が終了し、撮影が可能になります。
- フラッシュを使用する場合は、電源をオンにしてから撮影可能状態になるまでの時間が、長くかかる場合があります。

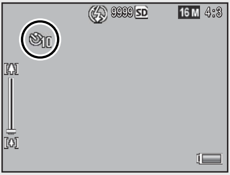
メモ

- フラッシュ発光時は、AE の精度を補助するため、予備発光します。
- 撮影設定メニュー（☞P.71）の［フラッシュ赤目軽減］（☞P.73）を［ON］に設定すると、人物の目が赤く写る赤目現象が軽減されます。
- 撮影モードや設定している撮影設定メニューによっては、ON にしていてもフラッシュが発光しません（☞P.104）。

セルフタイマーを使う



撮影できる状態で ૪（セルフタイマー）ボタンを押すと、セルフタイマーを使用できます。セルフタイマーは、[10 秒]、[2 秒]、[集合写真］から選択できます。セルフタイマーのモードを選んだら、シャッターボタンを押して撮影してください。



画像モニター左上にセルフタイマーのマークと秒数が表示されます。

[集合写真］の場合、セルフタイマーランプが撮影の直前に毎回 2 秒間点滅し、5 秒間隔で 2 枚撮影されます。フォーカスの位置は、1 回目の撮影で固定されます。

メモ --

- 撮影が完了した後もセルフタイマーは解除されません。セルフタイマーを解除するには、૪ ボタンを押して、[セルフ オフ］に切り替えます。
- 10 秒の場合は、セルフタイマーランプが 8 秒間点灯し、最後に 2 秒間点滅して撮影されます。
- [2 秒］の場合、セルフタイマーランプは点灯、点滅しません。
- 選択できる設定は、撮影モードによって異なります（☞P.104）。

露出補正をする



撮影できる状態で ☒（露出補正）ボタンを押すと、露出補正調整画面が表示されます。▲▼ ボタンで静止画の写りを明るくしたり、暗くしたりできます。MENU/OK ボタンを押すと、設定を確定できます。

被写体が明るすぎるまたは暗すぎる場合などに使用します。

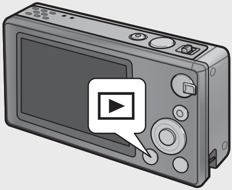
メモ --

撮影モードによっては、☒ ボタンを押すと露出補正ではなく、別の機能の設定画面が表示されることがあります（☞P.39）。

再生する

静止画を見る

再生モードにするには、▶（再生）ボタンを押します。電源がオフの状態で ▶ ボタンを長押しすると、再生モードの状態で起動します。

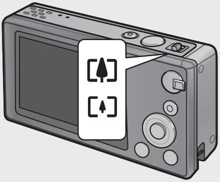


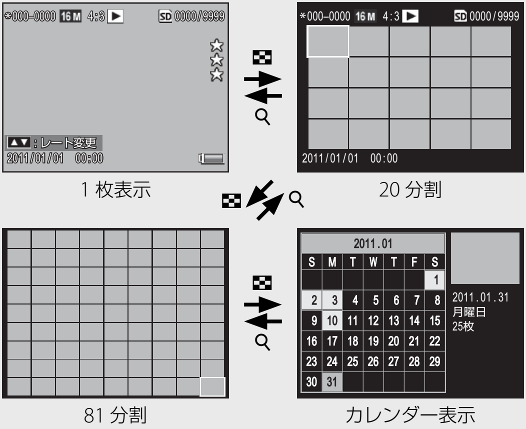
◀▶ を押すと、1 ファイル前／後ろを表示できます。

再生モードから撮影モードに戻るには、もう一度 ▶ ボタンを押します。

一覧表示する

ズームレバーを ⊞（サムネイル表示）側に倒すたびに、1 枚表示、20 分割、81 分割、カレンダー表示の順に切り換わります。ズームレバーを Q（拡大表示）側に倒すと、ひとつ前の表示方法に戻ります。





20 分割、81 分割

20 分割、81 分割表示では、▲▼◀▶ で静止画を選択できます。MENU/OK ボタンを押すと選択した画像が 1 枚表示されます。

カレンダー表示

カレンダーが表示され、▲▼◀▶ で画像を撮影した日を選択できます。撮影していない日は選択できません。MENU/OK ボタンを押すと、選択された日の最初に撮影した画像が 1 枚表示されます。



月の表示にカーソルを合わせると、◀▶ で表示する月を変更できます。

メモ

- 1 枚表示、20 分割、81 分割表示で★（お気に入り）ボタンを長押しすると、カレンダー表示になります。
- カレンダー表示の状態で電源をオフにした場合、次に電源をオンして再生モードに切り換えると、カレンダー表示になります。

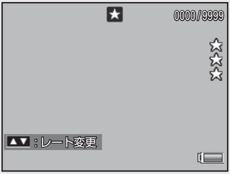
お気に入りを設定する

1 枚表示時に ▲▼ を押すと、★ 1 つから★ 3 つまでの間でお気に入りのレートを設定できます。お気に入りは 9999 枚まで設定できます。



お気に入り再生をする

再生モードで★ボタンを押すと、レートを選択するメニューが表示され、指定したレートのお気に入り画像のみを表示できます（お気に入り再生）。［全レート］を選択すると、すべてのお気に入り画像が表示されます。お気に入り再生時に★ボタンを押すと、通常再生に戻ります。



メモ

- お気に入り再生時は 1 枚表示、20 分割表示が可能です。
- お気に入り再生時も、お気に入りのレートを変更できます。レートは次回お気に入り再生時に反映されます。
- お気に入り再生での表示の順番を入れ替えられます（☞P.67）。

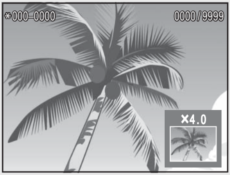
拡大表示する

ズームレバーを Q（拡大表示）側に倒すと、表示している静止画を拡大表示することができます。画像サイズにより、拡大できる倍率は異なります。

画像サイズ	拡大表示（最大倍率）
VGA 4:3	3.4 倍
1M 4:3	6.7 倍
上記以外の画像サイズ	16 倍

拡大表示中に ▲▼◀▶ ボタンを押すと、表示個所を移動します。

元の大きさに戻したい場合は、ズームレバーを（サムネイル表示）側に倒します。

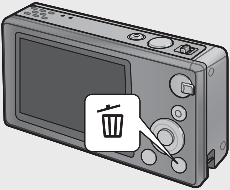


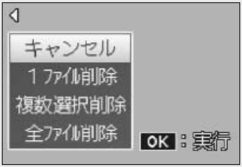
メモ

- 動画を拡大表示することはできません。
- ［トリミング］（☞P.61）した画像は、上記の最大倍率まで拡大できません。

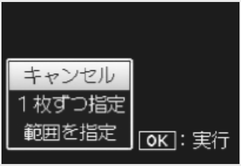
削除する

再生中に 🗑（削除）ボタンを押すと、ファイルを SD メモリーカードまたは内蔵メモリーから削除できます。





1 枚表示時



一覧表示時

- **1 枚表示時**

1 ファイル削除	現在選択しているファイルを削除します。
複数選択削除	1 枚表示から 20 分割表示に切り換わり、［1 枚ずつ指定］または［範囲を指定］を選択できます。
全ファイル削除	全ファイルを削除します。確認画面で［はい］を選んで MENU/OK ボタンを押すと、内蔵メモリーまたは SD メモリーカードに保存されたすべての画像を削除します。

- **一覧表示時**

1 枚ずつ指定	ゴミ箱マークが表示されたファイルをすべて削除します。
範囲を指定	始点と終点となるファイルを選択し、範囲内のファイルをすべて削除します。

複数のファイルを一度に削除する

1 枚表示の場合は、［複数選択削除］を選択すると 20 分割表示に切り換わり、［1 枚ずつ指定］または［範囲を指定］を選択できます。一覧表示の場合は、🗑 ボタンを押して表示されるメニューから選択します。

1 枚ずつ指定

1 削除したいファイルを選択し、MENU/OK ボタンを押す

- ゴミ箱マークが表示されます。もう一度 MENU/OK ボタンを押すとゴミ箱マークが消えます。

2 削除したいファイルをすべて選択し、🗑 ボタンを押す

3 確認画面で［はい］を選び、MENU/OK ボタンを押す

範囲を指定

1 始点となるファイルを選択し、MENU/OK ボタンを押す

- ゴミ箱マークが表示されます。Ⓢ（セルフタイマー）ボタンで範囲の始点をキャンセルできます。

2 終点となるファイルを選択し、MENU/OK ボタンを押す

- 始点と終点の間のすべてのファイルにゴミ箱マークが表示されます。

3 削除したいファイルの範囲をすべて選択し、🗑 ボタンを押す

4 確認画面で［はい］を選び、MENU/OK ボタンを押す

メニューを使う

MENU/OK ボタンを押すと、撮影メニューまたは再生メニューが表示されます。

クイック撮影メニューを表示する

撮影モード時に MENU/OK ボタンを押すと、クイック撮影メニューが表示されます。セットアップメニュー(☞P.78)の[クイックメニュー表示](☞P.79)を[OFF]に設定すると、撮影設定メニューが直接表示されます。



操作音音量設定	カメラの操作音量を設定できます。
画質・サイズ設定	撮影するファイルの画像サイズを設定できます(☞P.72)。
撮影詳細設定	撮影設定メニュー(☞P.71)を表示し、各種設定を変更できます。タブを選択してセットアップメニューを表示することもできます。

クイック再生メニューを表示する

再生モード時に MENU/OK ボタンを押すと、クイック再生メニューが表示されます。セットアップメニュー(☞P.78)の[クイックメニュー表示](☞P.79)を[OFF]に設定すると、再生設定メニューが直接表示されます。



表示情報変更	再生時に表示する情報を変更できます。 • **簡易表示**:ファイルの情報を表示します(☞P.18)。 • **詳細表示**:ファイルの詳細情報を表示します(☞P.19)。 • **表示無し**:アイコンなどを表示しません。
プライベート設定	[ON]に設定すると、シークレット登録(☞P.59)した画像を再生しないプライベート再生モードになります。
再生詳細設定	再生設定メニュー(☞P.75)を表示し、各種設定を変更できます。タブを選択してセットアップメニューを表示することもできます。

応用編

目的に応じて必要なときにお読みください

プレミアムショットを使用したい

プレミアムショットを使用すると、シーンに適した設定で撮影できます。

プレミアムショットのモード

料理		明るさや色合いを微調整し、料理をおいしそうに撮影できます。
スイーツ		写真の周囲の部分を、白く塗りつぶし、境界を丸または四角形でぼかして撮影できます。
オークション		複数の画像を組み合せ、選択したレイアウトで合成して一枚の静止画を作成します（☞P.41）。
パーティ		室内で撮影するときに使います。フラッシュを使用しても、被写体と背景を明るく撮影できます。
手持ち夜景		カメラを手に持って夜景を撮影するときに使います。
P	P モード	撮影設定メニュー（☞P.71）のほぼすべての設定を変更できます（☞P.104)。お好みの設定で撮影したい場合に使います。
ポートレート		人物を撮影するときに使います。被写体の顔を最大 8 枠まで自動的に認識し、ピント、明るさ、色合いを調整します。
夜景ポートレート		夜景を背景にして人物を撮影するときに使います。シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意して撮影してください。
拡大鏡		ズーム位置を自動的に最適化し、通常の接写よりも被写体をより大きく撮影できます。光学ズームは使用できません。
遠景		緑や青空の多い風景を撮影するときに使います。
ビーチ		日差しの強い砂浜などのシーンで人物を明るく撮影するときに使います。
スノー		雪景色のなかで人物を明るく撮影するときに使います。
スポーツ		動きのあるものを撮影するときに使います。
打ち上げ花火		打ち上げ花火を撮影するときに使います。▼ を押すと、露光時間を 2 秒、4 秒、8 秒から選択できます。カメラを三脚などに固定して撮影してください。

	斜め補正	四角い被写体を、正面から撮影したように補正します（☞P.42）。
	ペット	猫などのペットを撮影するときに使います。フラッシュ（☞P.29）、AF 補助光（☞P.80）、操作音（☞P.81）は設定にかかわらず、すべてオフになります。
	ミニチュアライズ	実際の風景を、ミニチュアで再現して撮影したような印象の画像にすることができます（☞P.43）。
	トイカメラ	トイカメラで撮影したような、コントラストが強く、色がにじんだ印象の画像を撮影できます。
	ハイコントラスト白黒	［白黒］よりもコントラストを強調した、ざらついた印象の白黒画像を撮影するときに使います。
	ソフトフォーカス	ソフトフォーカスレンズを取りつけて撮影したような、ぼかした画像を撮影できます。
	クロスプロセス	実際の色とは大きく異なる色合いの画像を撮影できます。どのような色合いにするかは撮影設定メニューの［色調］（☞P.74）で設定できます。
	白黒	白黒の画像を撮影するときに使います。
	セピア	セピア調の画像を撮影するときに使います。
	MY1 ～ MY5	▼を押して調整を変更した状態を、新しいモードとして登録できます（☞P.44）。

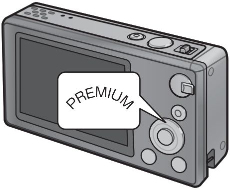
メモ

- プレミアムショットのモードは、電源をオフにしても保持されます。
- 各モードで▼を押したときに表示される調整画面は以下の通りです。

モード	機能
料理、スイーツ、オークション	明るさ、色
打ち上げ花火	露光時間設定
ミニチュアライズ	ミニチュアライズ設定
その他のモード	明るさ

プレミアムショットの使用手順

1 撮影モードで PREMIUM ボタンを押す



- プレミアムショット選択画面が表示されます。





- プレミアムショット選択画面には、［お気に入り］と［全て］があります。▲▼ボタンで表示を切り換えられます。前回表示したプレミアムショット選択画面が表示されます。
- ［お気に入り］に表示されるプレミアムショットは入れ替えることもできます(☞P.43)。

2 ◀▶ で使用したいプレミアムショットのモードを選択する



サンプル画像

メモ --

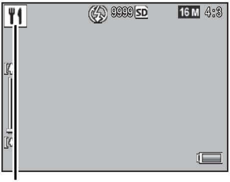
サンプル画像は、再生設定メニュー（☞P.75）の［プレミアムショット画像登録］で（☞P.76）自分が撮影した画像に変更できます。

1

シーン別に撮影したい

3 MENU/OK ボタンを押す

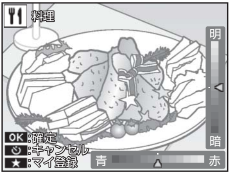
- スイーツモード、オークションモードでは、フレームまたはレイアウトを選択して、MENU/OK ボタンを押します。



モードアイコン

4 ▼ を押して調整画面を表示し、設定を変更する

- 表示される調整画面は、撮影モードによって異なります（☞P.39）。
- 調整した状態をマイ登録できます（☞P.44）。



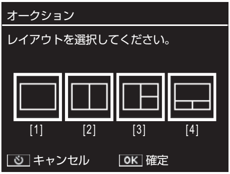
5 シャッターボタンを押して撮影する

通常撮影モードに戻るには --

プレミアムショット撮影画面で、◀▶ を押すと通常撮影モードに戻ります。

オークションを使うには

モード選択時に設定したレイアウトに従って、1 枚または複数枚の画像を撮影します。



画像を撮影すると、確認画面が表示されます。MENU/OK ボタンで確定すると、次のレイアウト位置の画像を撮影できます。

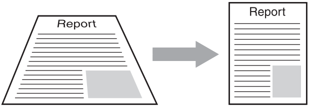
すべてのレイアウト位置の画像を撮影し、MENU/OK ボタンを押すと、1 枚の画像として合成されます。

メモ --

- 画像サイズは［1M 4:3］に固定されます。
- 画像のファイル容量は 500KB 以内で撮影されます。

斜め補正を使うには

掲示板や名刺などの四角い被写体を斜め方向から撮影する場合、撮影した画像を正面から撮影したように補正し、変換します。



1 斜め補正モードでシャッターボタンを押して撮影する

- 処理中のメッセージが表示され、補正対象として認識したエリアがオレンジの枠で表示されます。最大 5 つのエリアが認識できます。
- エリアが検出できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。変換前の画像は記録されたまま残ります。
- 別の補正エリアを選択する場合は、▶ で目的のエリアまでオレンジ色の枠を移動します。
- 変換をキャンセルする場合は、ⓢ（セルフタイマー）ボタンを押します。変換をキャンセルした場合、変換前の画像は記録されたまま残ります。

2 MENU/OK ボタンを押す

- 処理中のメッセージが表示され、変換後の画像が記録されます。変換前の画像も残ります。

メモ --

撮影済みの静止画を斜め補正することもできます（☞P.64）。

注意 --

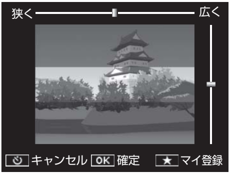
［斜め補正］に設定した場合は、以下の点にご注意ください。

- 被写体ができるだけ大きくなるように、被写体の全体が画像モニターの表示に入るような構図で撮影してください。
- 以下のようなときには被写体を認識できないことがあります。
  - ピンぼけの画像
  - 被写体の 4 辺がはっきり見えない
  - 被写体と背景の区別がつきにくい
  - 背景が複雑な構図
- 変換前と変換後、2 枚の画像が記録されます。記録可能枚数が 2 枚未満の場合には、撮影できません。
- ［日付入れ撮影］（☞P.55）をオンに設定していると、補正エリアを正しく検出できない場合があります。

ミニチュアライズを使うには

ミニチュアライズを使用すると、ミニチュアを接写したような印象の画像を撮影できます。高い場所から斜め下の方向に見下ろした風景を撮影すると効果的です。

ミニチュアライズモードで ▼ を押すと、ミニチュアライズ設定画面が表示されます。ぼかさない部分 (注目エリア) 以外が半透明のグレーで表示されるので、▲▼ で注目エリアの位置、◀▶ で注目エリアの幅を設定してください。MENU/OK ボタンを押すと、注目エリアが設定され、画像を撮影できます。



メモ --

カメラを縦にすると、注目エリアは縦位置に対して横に表示されます。

注意 --

撮影直後に表示される確認画像と実際の画像では、ぼけ具合が多少異なります。

プレミアムショットのモードをお気に入り登録する

PREMIUM ボタンを押して表示される［プレミアムショット選択［お気に入り]］画面に、よく使用するプレミアムショットのモードを登録できます。

［プレミアムショット選択［全て]］画面で登録したいプレミアムショットのモードを選択し､★（お気に入り）ボタンを押します。現在のお気に入りから外したいモードを選択し、MENU/OK ボタンを押すとお気に入りが入れ替わります。

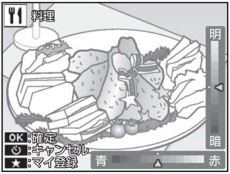


プレミアムショットの設定をマイ登録する

プレミアムショットで調整した状態を、[MY1]～[MY5]にマイ登録できます。マイ登録は撮影モード、再生モードの両方からできます。

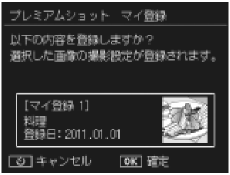
撮影モードで登録する

各モードの調整画面で★(お気に入り)ボタンを押すと、サンプル画像撮影画面が表示されます。このとき撮影した画像をサンプル画像として、現在の設定をマイ登録できます。



再生モードで登録する

再生モードで、プレミアムショットで撮影した画像を1枚表示し、再生設定メニュー(☞P.75)の[プレミアムショットマイ登録](☞P.76)を選択すると、表示中の画像の設定をマイ登録できます。

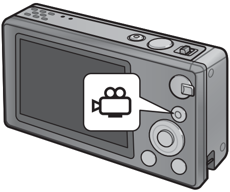


メモ --

- 撮影モードで登録する場合に、サンプル画像として撮影した画像は、再生できるファイルとしては保存されません。
- 設定は[MY1]から[MY5]の順に登録されます。すでに[MY5]まで設定が登録されている場合、[MY1]～[MY5]のいずれかを選択して上書きする画面が表示されます。上書きしたい登録先を選択して、MENU/OKボタンを押してください。
- 再生設定メニュー(☞P.75)の[プレミアムショット画像登録](☞P.76)で、サンプル画像のみの登録もできます。

動画を撮影したい

🎥（動画）ボタンを押すと、音声付き動画（.avi 形式）を撮影できます。



通常撮影またはプレミアムショットを選択している場合でも、🎥 ボタンを押すと動画撮影モードに切り替わり、ピント合わせや測光を行って動画撮影が開始されます。

録画中は、[● REC] が点滅し、記録時間と残り記録時間が表示されます。🎥 ボタンを再度押すと、動画撮影を終了します。



注意 --

- 動画撮影中に操作音が記録されることがあります。
- 1 回の撮影で記録可能な動画は、最大 4GB または最長約 29 分です。ただし、実際の撮影可能時間はご使用のカードの容量により異なります（☞P.110）。また撮影可能時間内でも、ご使用のカードによっては、撮影を終了する場合があります。
- 蛍光灯の下で撮影する場合、ちらつきが記録される場合があります。
- 動画撮影時に使用できるデジタルズーム（☞P.57）の最大倍率は、[動画サイズ] が [HD 1280] の場合は 2.8 倍、[VGA 640] の場合は 4.0 倍です。

メモ

- 動画撮影中にズームレバーを倒すと、デジタルズーム（☞P.57）が動作します。
- 被写体追尾 AF は使用できません。
- 一秒間に撮影されるフレーム数は 30 コマ / 秒です。
- 残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、一様に変化しないことがあります。
- 電池残量によっては、途中で電池切れになることがあります。長時間撮影される場合は、充分に充電された電池のご使用をお勧めします。
- ［動画サイズ］を［HD 1280］に設定して動画を撮影する場合は、SD スピードクラスが Class6 以上の SD/SDHC メモリーカードのご使用をお勧めします。

動画を再生したい

再生モードで、再生したい動画を選んでズームレバーを Q（拡大表示）側に倒すと、再生が始まります。画像モニターに、再生経過を示すインジケーターや経過時間が表示されます。



早送り	再生中にズームレバーを [♣] 側に倒す
巻き戻し	再生中にズームレバーを [♠] 側に倒す
一時停止／再生	★（お気に入り）ボタンを押す
スロー再生	一時停止中にズームレバーを [♣] 側に倒し続ける
スロー戻し	一時停止中にズームレバーを [♠] 側に倒し続ける
次のフレームの表示	一時停止中にズームレバーを [♣] 側に倒す
前のフレームの表示	一時停止中にズームレバーを [♠] 側に倒す
音量を調節する	再生中に ▲▼ ボタンを押す

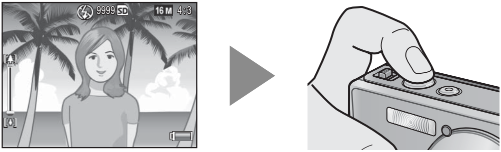
ピントを合わせて撮影したい

被写体によっては、オートフォーカスでピントが合わせにくい場合があります。その場合、「フォーカスロック」を使用したり、カメラの［フォーカス］の設定を変更することをおすすめします。

フォーカスロックを使用する

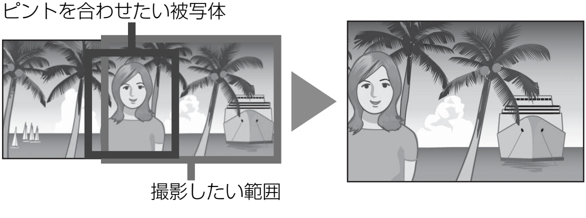
オートフォーカスで適切なピント合わせができない場合や、被写体が構図の中央にない場合には、シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせた後に構図を決めて撮影します（フォーカスロック）。

1 画像モニターの中央に被写体を合わせ、シャッターボタンを半押しする



- ピント合わせが行われ、露出とホワイトバランスが固定されます。
- 最大 9 点で測距され、どの位置にピントを合わせているかが、緑の枠で表示されます。

2 半押しのままカメラを動かして構図を決める



3 シャッターボタンをそのまま静かに押し切る

注意 --

フォーカスロック時には被写体との距離を変更しないでください。フォーカスロック後、被写体との距離が変更された場合は、一度シャッターボタンを離してフォーカスロックを解除し、再度半押しをしてフォーカスロックをしてください。

ピント合わせについて --

- ピント合わせの状態は、画像モニター中央の枠の色および形で確認することができます。

ピント合わせの状態	枠の色	枠の形
ピント合わせ前（通常撮影、［オークション］、［ポートレート］、［ペット］以外）	白	［ ］
ピントが合ったとき	緑	［ ］
ピントが合わなかったとき	赤	［ ］（点滅）

- 次のような被写体は、ピントを合わせられないことや、枠の色が緑になっていてもピントが合っていないことがあります。
  - コントラストのないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
  - 横線だけで、凹凸のないもの
  - 動きの速いもの
  - 暗いところのもの
  - 強い逆光および反射光があるもの
  - 蛍光灯などのちらつきのあるもの
  - 光源が点状のもの（電球、スポットライト、点光源 LED など）

  このような被写体を撮影するときは、撮影したい被写体と同じ距離の違う被写体にピントを固定するなどしてから撮影してください。

［フォーカス］の設定を変更する

撮影設定メニュー（☞P.71）の［フォーカス］を設定すると、ピント合わせ（フォーカス）の方式を設定できます。被写体や目的に合わせて、適切な設定を選択してください。

注意 --

選択している撮影モードによっては、［フォーカス］を設定できません（☞P.104）。撮影モードによって、選択できる項目も異なります。

—	マルチ AF 9 箇所の AF エリアから測距し、最も近い位置にピントを合わせます。ピンぼけの少ない撮影ができます。
	顔優先マルチ AF 人物の顔を認識して、優先的にピントを合わせます。人物を撮影する場合に便利です。人物の顔が認識できなかった場合、［マルチ AF］と同様の動作になります。
	被写体追尾 シャッターボタンを半押しして設定した被写体の動きに合わせて自動的にピント合わせ動作を行います。動きのある被写体を撮影する場合に便利です。
—	スポット AF AF エリアを画像モニター中央の 1 箇所に固定し、ピントを合わせます。

被写体追尾 AF を使用する

［被写体追尾］を選んでシャッターボタンを半押しすると、画像モニターの中央にある枠内の被写体が追尾対象として設定され、緑色のターゲットマークが表示されます。



シャッターボタンを離すか、シャッターボタンを全押しして撮影すると、自動追尾は解除されます。

注意 --

- 追尾対象の被写体の動きが速い場合や、暗すぎる環境では追尾できないことがあります。
- 追尾対象が見つからない場合、中央の枠が赤く点滅します。
- 追尾対象がフレームから外れるとターゲットマークが赤く点滅し、自動追尾が解除されます。

ブレないように撮影したい

シャッターボタンを押したときにカメラが動いてしまうと、静止画を鮮明に撮影できません（手ブレ）。手ブレを防ぐために、シャッターボタンは静かに押しましょう。

次のような場合には、手ブレが起きやすいので注意が必要です。

- フラッシュを使わずに暗い場所で撮る
- ズームを使って撮る

画像モニターに マークが表示されたときは、手ブレしやすい状態です。以下の機能使用をおすすめします。

［手ブレ補正］を使用する

撮影設定メニュー（P.71）の［手ブレ補正］を［ON］に設定すると、手ブレによる画像のにじみを起きにくくします。選択している撮影モードによっては、［手ブレ補正］を使用できません（P.104）。

注意

- 被写体ブレ（被写体が風などでゆれてぶれる）は、手ブレ補正機能で防ぐことはできません。
- ［手ブレ補正］は購入時［ON］に設定されています。

フラッシュを使用する

フラッシュモードを［AUTO］または［ON］に設定すると、フラッシュを発光させて撮影できます（P.29）。

ISO 感度を上げる

ISO 感度を高感度に設定すると、手ブレが起こりにくくなります（P.56）。ただし、ISO 感度を高くすると画像が粗くなる場合があります。

色味を変えて撮影したい

光に合わせて最適な色味を設定したり、画像の色味を意図的に変更して撮影できます。

[ホワイトバランス]を使用する

撮影設定メニュー（☞P.71）の［ホワイトバランス］では、白い被写体が白く写るように調整を行います。購入時、ホワイトバランスモードは［マルチパターン AUTO］に設定されています。単一色の被写体や、複数の光源下にある被写体を撮影するときなど、ホワイトバランスの調整がうまく合いにくい場合には、設定を変更します。選択している撮影モードによっては、［ホワイトバランス］を設定できません（☞P.104）。

AUTO	オート 自動的に調整します。
	マルチパターン AUTO 日向／日陰、フラッシュ光の領域ごとに、カメラが自動的に最適なホワイトバランスを調整します。
	屋外 屋外（晴天）での撮影時
	曇天 曇天や日陰などでの撮影時
	白熱灯 1 白熱灯の下での撮影時
	白熱灯 2 白熱灯の下での撮影時（［白熱灯 1］に比べて赤みを残して撮影します）
	蛍光灯 蛍光灯の下での撮影時
	手動設定 手動設定を行います。

メモ --

- 被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。このようなときは、被写体に白色系のものを入れて撮影するか、[手動設定] を使用してください。
- フラッシュ撮影の場合、[AUTO]、[マルチパターン AUTO］以外では、画像モニター上の表示と撮影後の画像とで色味が大きく異なります。

手動設定

1 ［手動設定］を選ぶ

2 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向けて★（お気に入り）ボタンを押す

- ホワイトバランスが設定されます。

3 MENU/OK ボタンを押す

- 画面にマークが表示されます。
- 設定したホワイトバランスで画面が再表示されます。思いどおりにならなかった場合は、手順を繰り返すと、何度でも設定変更ができます。

メモ --

手動設定を解除するには、［手動設定］以外を選択します。

［画像設定］を使用する

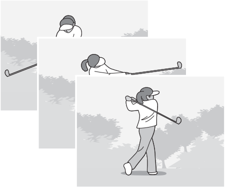
撮影設定メニュー（☞P.71）の［画像設定］を設定すると、コントラスト、シャープネス、色、彩度など画像の画質を変更できます。選択している撮影モードによっては、［画像設定］を設定できません（☞P.104）。

Vi	ビビッド コントラスト、シャープネスを［スタンダード］より高めに、彩度を最高にすることによって、硬い感じの画質にします。
—	スタンダード 通常の画質です。
Na	ナチュラル コントラスト、シャープネス、彩度を［スタンダード］より低めにすることによって、軟らかい感じの画質にします。

連続写真を撮影したい

撮影設定メニュー（☞P.71）の［連写］を使用すると、連続写真を撮影できます。選択している撮影モードによっては、［連写］を設定できません（☞P.104）。連写には、以下の 3 種類があります。

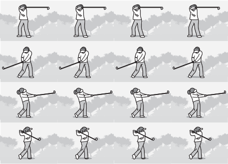
連写



シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。静止画は通常の撮影時と同じように、1 枚ずつ記録します。

連写で撮影した静止画を再生するには、再生モードにして（☞P.31）、◀▶ で再生したい静止画を選択します。

S 連写（ストリーム連写）

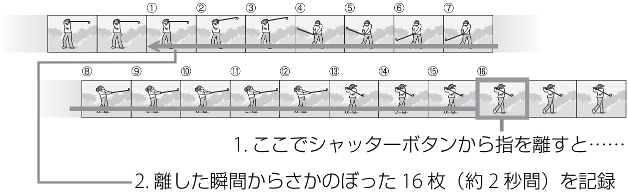


シャッターボタンを押しきった瞬間から撮影間隔 1/7.5 秒で 16 枚（約 2 秒間）連続撮影します。

16 枚の静止画を 1 組にして、1 つの画像ファイル（4608 × 3456 ピクセル）として記録します。

M 連写（メモリー逆戻り連写）

シャッターボタンを押している間、連続撮影を行います。シャッターボタンを離した瞬間からさかのぼった 16 枚（約 2 秒間）の静止画を 1 組にして、1 つの画像ファイル（4608 × 3456 ピクセル）として記録します。



注意

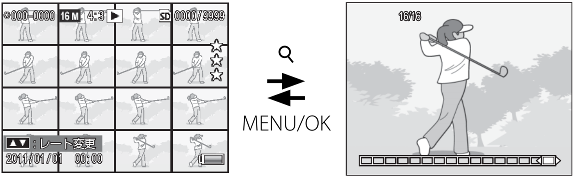
- S連写／M連写のときは、セットアップメニュー（☞P.78）の［デジタルズーム切替］（☞P.82）を［オートリサイズ］に設定していても、デジタルズームが有効になります。
- 連写の設定は、電源をオフにすると解除されます。

メモ

- M連写では､シャッターボタンを押しはじめてから2秒以内にシャッターボタンを離した場合は、シャッターボタンを押してから離すまでの間が連続撮影され、記録される撮影枚数は16枚より少なくなります。
- 連写時は、フォーカスと露出値が固定されます。
- 連写を使って撮影するときの連続記録可能枚数は、画像サイズにより異なります。
- ［カード連続NO.］を［ON］に設定している場合（☞P.82)、連写撮影中にファイル番号の下4桁が「9999」を超えると､メモリーカード内に別フォルダが作成されて連写が継続されます。

S連写／M連写した静止画を拡大して見る

- S連写､M連写で撮影した静止画（16枚1組になった画像ファイル）は、再生中にQ（拡大表示）側に倒すと、拡大表示できます。



- 拡大表示後は、連写した先頭の1コマが拡大表示されます。画像モニターの下部にはコマ位置を示すバーが表示されます。◀▶でコマを移動できます。

日付を入れて撮影したい

撮影設定メニュー（☞P.71）の［日付入れ撮影］を使用すると、静止画の右下に日付（年／月／日）または日時（年／月／日　時：分）を入れることができます。

日付	「年／月／日」の形式です。
日時	「年／月／日　時：分」の形式です。
OFF	日付は入りません（初期設定）。

注意 --

- 動画に日付を入れることはできません。
- 画像に入れた日付を削除することはできません。

日時を修正するには

設定した日時は、セットアップメニュー（☞P.78）の［日時設定］で修正できます。

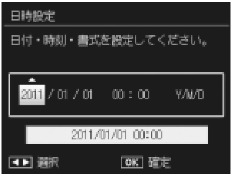
1 セットアップメニューで［日時設定］を選び、▶ を押す

- 設定画面が表示されます。



2 ◀▶ で年・月・日・時・分・書式を選択し、▲▼ で値を設定する

- ⏻ ボタンを押すと、設定をキャンセルできます。



3 画面の表示を確認し、MENU/OK ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

4 MENU/OK ボタンを押す

- 日時が設定されます。

ISO 感度を変更して撮影したい

ISO 感度は、光に対する敏感さを表す値です。数字が大きいほど高感度になります。高感度は、暗い場所や動きの速いものを撮影するときに適し、手ブレが起こりにくくなります。

ISO 感度は撮影設定メニュー（☞P.71）の［ISO 感度］で設定できます。ISO 感度が［AUTO］の場合には、距離／明るさ／ズーム／マクロ／画質・サイズによってカメラが自動的に感度を変化させます。ISO 感度の値を変化させたくない場合は、［AUTO］以外を選択します。

ISO 感度を［AUTO］に設定した場合の ISO 感度の上限は、撮影設定メニューの［ISO AUTO 上限設定］（☞P.73）で設定できます。選択している撮影モードによっては、［ISO 感度］または［ISO AUTO 上限設定］を設定できません（☞P.104）。

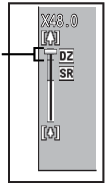
メモ --

- ISO 感度を［AUTO］に設定している場合、ISO 感度は 100 から［ISO AUTO 上限設定］で設定した値の間で変動します。
- ISO 感度を高くすると、画像が粗くなる場合があります。
- ISO 感度を［AUTO］に設定している場合、シャッターボタン半押し時に ISO 感度が表示されますが、実際の ISO 感度とは異なる場合があります（フラッシュ使用時など）。

デジタルズームを使用したい

デジタルズームを使用すると、超解像ズームから、さらに被写体を拡大できます（静止画：最大 4.8 倍、動画［HD 1280］：最大 2.8 倍、［VGA 640］：最大 4.0 倍まで）。

デジタルズームを使う場合は、ズームバー表示が黄色い部分にきた状態でいったんズームレバーから指を離し、再びズームレバーを [♠] 側に倒します。デジタルズームを使用しているときは DZ が表示され、倍率は黄色で表示されます。



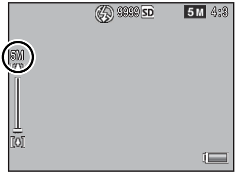
撮影モードや設定している撮影設定メニューによっては、デジタルズームは使用できません（☞P.104）。

オートリサイズズームを使用したい

通常のデジタルズームは、設定した画像サイズまで画像の一部を拡大して保存します。これに対し、セットアップメニュー（☞P.78）の［デジタルズーム切替］で［オートリサイズ］を選ぶと、切り出した部分をそのまま記録するので、拡大による画質の劣化がありません。記録する画像のサイズは、オートリサイズズームの倍率により変化します。

ズームレバーを [♠]（望遠）側に倒し続け、ズームバー表示が [♠] 側の端にある状態でいったんズームレバーから指を離し、再びズームレバーを [♠] 側に倒すとオートリサイズズームが動作します。

さらにズームレバーを [♠] 側に倒すごとに、1 段階ずつ画像サイズが変更されます。その際、記録する画像サイズがズームバーの上に表示されます。



オートリサイズズームは、［画質・サイズ］（☞P.72）を 16M 4:3 に設定しているときのみ動作し、それ以外の場合はデジタルズームが有効になります。

ズーム倍率と記録する画像サイズの関係

画像・サイズ	ズーム倍率	焦点距離 *
16M 4:3	1.0 倍	140mm
10M 4:3	1.3 倍	170mm
5M 4:3	1.8 倍	240mm
1M 4:3	3.6 倍	500mm
VGA 4:3	7.2 倍	1000mm

* 35mm 判カメラ換算値

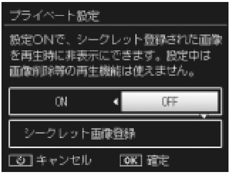
注意 --

以下の場合は、[オートリサイズ] に設定していてもオートリサイズズームは使用できません。

- ［斜め補正］モード
- ［トイカメラ］モード
- S 連写または M 連写
- 動画撮影

プライベート設定を使用したい

［プライベート設定］を［ON］にすると、あらかじめ選択した画像を再生しない「プライベート再生」モードで再生が開始されます。［プライベート設定］はクイック再生メニュー（☞P.36）または再生設定メニュー（☞P.75）から使用できます。



表示しない画像を設定する

プライベート再生時に表示しない画像は、［プライベート設定］の［シークレット画像登録］で設定します。［シークレット画像登録］を選択して▶を押すと20分割表示に切り換わり、［1枚ずつ指定］または［範囲を指定］を選択できます。

1枚ずつ指定

1 登録したいファイルを選択し、MENU/OKボタンを押す

- シークレットアイコンが表示されます。もう一度MENU/OKボタンを押すとシークレットアイコンが消えます。

2 登録したいファイルをすべて選択し、★（お気に入り）ボタンを押す

範囲を指定

1 範囲の始点になるファイルを選び、MENU/OKボタンを押す

- シークレットアイコンが表示されます。ඞ（セルフタイマー）ボタンで範囲の始点をキャンセルできます。

2 終点となるファイルを選択し、MENU/OKボタンを押す

- 始点と終点の間のすべてのファイルにシークレットアイコンが表示されます。

3 登録したいファイルの範囲をすべて選択し、★ボタンを押す

プライベート再生モードで再生する

［プライベート設定］で［ON］を選択すると、プライベート再生モードで再生が開始されます。プライベート再生モードでは、［シークレット画像登録］で指定した画像は表示されず、機能も制限されます。

メモ

プライベート再生モードは、指定画像の非表示以外にも通常の再生モードと以下の点が異なります。

- 🗑（削除）ボタンを押しても、画像の削除（☞P.34）はできません。
- クイック再生メニューで、［再生詳細設定］は選択できません。

プライベート再生をやめるには

プライベート再生をやめるには、［プライベート設定］で［OFF］を選択します。

画像を切り抜いて構図を変えたい

再生設定メニュー（☞P.75）の［トリミング］や［斜め補正］では、撮影した画像を切り抜いて、別のファイルとして記録できます。

トリミング

［トリミング］では、撮影した静止画をトリミングし、別のファイルとして記録することができます。

トリミングするには、ズームレバーを Q 側や ⊞ 側に倒して、トリミング枠の大きさを指定してから、▲▼◀▶ でトリミング枠の位置を指定します。



MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の画像が記録されます。

注意 --

- トリミングできるのは、本カメラで撮影した静止画です。
- 動画はトリミングできません。
- トリミングを繰り返し実行すると画像を再圧縮するため、画質は劣化します。

メモ --

- トリミング位置を指定する画面で ★（お気に入り）ボタンを押すと、トリミング枠の縦と横の比率を変更できます。トリミングできる縦横比は 4:3 または 1:1 です。3:2 や 16:9 にはトリミングできません。
- 指定できるトリミング枠の大きさは、元画像のサイズによって異なります。

- トリミング後の画像サイズは、元画像のサイズと、トリミングの段階（トリミング枠の大きさ）によって決まります（[トリミング］画面で最初に表示されるトリミング枠は、2 段階目です。ズームレバーを ⊞ 側に倒すと、1 段階目の枠（最大枠）になります）。

縦横比 4：3 にトリミングする場合：

元画像のサイズ	トリミングの段階	トリミング後の画像サイズ
16M 4:3 (4608 × 3456)	1	4608 × 3456
	2、3	3648 × 2736
	4 ～ 6	2592 × 1944
	7 ～ 10	1280 × 960
	11 ～ 14	640 × 480
14M 3:2 (4608 × 3072)	1 ～ 3	3648 × 2736
	4 ～ 6	2592 × 1944
	7 ～ 10	1280 × 960
	11 ～ 14	640 × 480
12M 1:1 (3456 × 3456)	1 ～ 3	2592 × 1944
	4 ～ 7	1280 × 960
	8 ～ 11	640 × 480
12M 16:9 (4608 × 2592)	1 ～ 3	2592 × 1944
	4 ～ 7	1280 × 960
	8 ～ 11	640 × 480
10M 4:3 (3648 × 2736)	1	3648 × 2736
	2 ～ 5	2592 × 1944
	6 ～ 9	1280 × 960
	10 ～ 13	640 × 480
5M 4:3 (2592 × 1944)	1 ～ 3	2592 × 1944
	4 ～ 7	1280 × 960
	8 ～ 12	640 × 480
4M 4:3 (2304 × 1728)	1 ～ 2	2304 × 1728
	3 ～ 6	1280 × 960
	7 ～ 11	640 × 480
1M 4:3 (1280 × 960)	1 ～ 3	1280 × 960
	4 ～ 8	640 × 480
VGA 4:3 (640 × 480)	1 ～ 4	640 × 480

縦横比 1：1 にトリミングする場合：

元画像のサイズ	トリミングの段階	トリミング後の画像サイズ
16M 4:3 (4608 × 3456)	1 ～ 4	2736 × 2736
	5、6	1536 × 1536
	7 ～ 10	960 × 960
	11 ～ 14	480 × 480
14M 3:2 (4608 × 3072)	1 ～ 3	2736 × 2736
	4 ～ 6	1536 × 1536
	7 ～ 10	960 × 960
	11 ～ 14	480 × 480
12M 1:1 (3456 × 3456)	1 ～ 4	2736 × 2736
	5、6	1536 × 1536
	7 ～ 10	960 × 960
	11 ～ 14	480 × 480
12M 16:9 (4608 × 2592)	1 ～ 3	1536 × 1536
	4 ～ 7	960 × 960
	8 ～ 11	480 × 480
10M 4:3 (3648 × 2736)	1 ～ 3	2304 × 2304
	4 ～ 6	1536 × 1536
	7 ～ 9	960 × 960
	10 ～ 13	480 × 480
5M 4:3 (2592 × 1944)	1 ～ 3	1536 × 1536
	4 ～ 7	960 × 960
	8 ～ 11	480 × 480
4M 4:3 (2304 × 1728)	1 ～ 2	1536 × 1536
	3 ～ 6	960 × 960
	7 ～ 11	480 × 480
1M 4:3 (1280 × 960)	1 ～ 3	960 × 960
	4 ～ 8	480 × 480
VGA 4:3 (640 × 480)	1 ～ 4	480 × 480

斜め補正

［斜め補正］では、斜め方向から撮影した掲示板や名刺などの四角い被写体を、正面から撮影したような画像に変換し、別ファイルとして記録することができます。

注意

- 斜め補正できるのは、本カメラで撮影した静止画のみです。
- 動画は斜め補正できません。

メモ

- 処理中は補正対象として認識したエリアがオレンジ枠で表示されます。最大 5 つのエリアが認識できます。
- エリアが検出できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。変換前の画像は記録されたまま残ります。
- 別の補正エリアを選択する場合は、▶ を押して目的のエリアまでオレンジ色の枠を移動します。
- 変換をキャンセルする場合は、セルフタイマーアイコン（セルフタイマー）ボタンを押します。変換をキャンセルした場合、変換前の画像は記録されたまま残ります。
- 斜め補正しても、画像サイズは変わりません。
- 画像サイズが大きい場合は、補正処理に時間がかかります。斜め補正の前に［画像サイズ変更］（☞P.76）で画像をリサイズしておくと、処理速度を速くすることができます。
- 斜め補正処理にかかる時間の目安は、下記のとおりです。

画像サイズ	補正時間	画像サイズ	補正時間	画像サイズ	補正時間
16M 4:3	約 37 秒	12M 16:9	約 24 秒	1M 4:3	約 3 秒
14M 3:2	約 32 秒	10M 4:3	約 23 秒	VGA 4:3	約 1 秒
12M 1:1	約 23 秒	5M 4:3	約 12 秒		

- プレミアムショットの［斜め補正］では、撮影直後の画像を斜め補正できます（☞P.42）。

画像を誤って消さないようにしたい

再生設定メニュー（☞P.75）の［プロテクト］では、記録したファイルを誤って削除してしまわないように、プロテクトできます。［1 ファイル］を選ぶと、表示しているファイルをプロテクト／解除できます。［全ファイル選択］または［全ファイル解除］を選ぶと、全ファイルをプロテクト／解除できます。



複数ファイルを指定する場合

［複数選択］を選択すると 20 分割表示に切り換わり、［1 枚ずつ指定］または［範囲を指定］を選択できます。

1 枚ずつ指定

1 プロテクトしたいファイルを選択し、MENU/OK ボタンを押す

- プロテクトアイコンが表示されます。もう一度 MENU/OK ボタンを押すとプロテクトアイコンが消えます。

2 プロテクトしたいファイルをすべて選択し、★（お気に入り）ボタンを押す

範囲を指定

1 範囲の始点になるファイルを選び、MENU/OK ボタンを押す

- プロテクトアイコンが表示されます。Ⓢ（セルフタイマー）ボタンで範囲の始点をキャンセルできます。

2 終点となるファイルを選択し、MENU/OK ボタンを押す

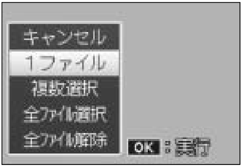
- 始点と終点の間のすべてのファイルにプロテクトアイコンが表示されます。

3 プロテクトしたいファイルの範囲をすべて選択し、★ ボタンを押す

注意 ---

初期化を行うとプロテクト設定にかかわらず、すべて削除されます。

印刷する画像を設定したい



SD メモリーカードに記録した静止画は、デジタルカメラプリントサービス取り扱い店でプリントできます。再生設定メニュー（☞P.75）の［DPOF］では、その際に必要な情報を設定できます。

［1 ファイル］を選ぶと、表示しているファイルを DPOF 設定／解除できます。

［全ファイル選択］または［全ファイル解除］を選ぶと、全ファイルを DPOF 設定／解除できます。

複数ファイルを指定する場合

［複数選択］を選択すると、20 分割表示に切り換わり、DPOF 設定／解除するファイルを個別に指定できます。

DPOF 設定をしたい静止画を選択し、▲▼ で印刷枚数を指定します。▲ で枚数が増え、▼ で枚数が減ります。設定後に MENU/OK ボタンを押すと、設定が完了します。

メモ --

複数のファイルの DPOF 設定を解除するには、上記の手順で、解除したいファイルの印刷枚数を［0］に指定して MENU/OK ボタンを押します。

お気に入り画像の順番を入れ替えたい

再生設定メニュー（☞P.75）の［お気に入り画像順序入替え］では、お気に入り再生時に表示する画像の順番を変更できます。［お気に入り画像順序入替え］は、お気に入り再生モード（☞P.32）から再生設定メニューを表示した場合のみ選択できます。

1 お気に入り再生モードで MENU/OK ボタンを押す

- クイック再生メニューが表示されます。
- セットアップメニュー（☞P.78）の［クイックメニュー表示］（☞P.79）を［OFF］に設定している場合、再生設定メニューが表示されます。



2 再生詳細設定を選択して MENU/OK ボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。



3 ［お気に入り画像順序入替え］を選択して ▶ を押す

- 20 分割表示に切り換わり、すべてのレートのお気に入り画像が表示されます。
- ファイルの選択方法を［1 枚ずつ移動］または［複数枚を移動］から選択できます。



4 移動したいファイルを選択する

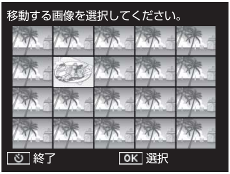


- ［1 枚ずつ移動］を選択した場合、移動したいファイルを選んで MENU/OK ボタンを押します。
- ［複数枚を移動］を選択した場合、始点と終点となるファイルを MENU/OK ボタンを押してそれぞれ指定します。
- 選択したファイルにはチェックマークが表示されます。

5 カーソルで移動先を指定する



6 MENU/OK ボタンを押す



- カーソルの位置に、手順 4 で選択したファイルが移動します。
- ファイルの移動後は、手順 4 の画面に戻ります。ファイルの移動を終了したい場合は、ꝺ（セルフタイマー）ボタンを押してください。

メモ --

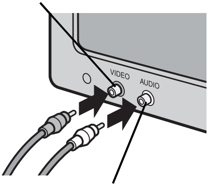
移動したファイルのお気に入りのレートは、移動した位置の直後にある画像と同じレートになります。最後の位置に移動した場合、直前にある画像と同じレートになります。

テレビで再生したい

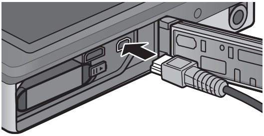
撮影したファイルをテレビの画面に表示するには、別売りの AV ケーブルを使ってカメラとテレビを接続します。

1 テレビのビデオ入力端子に AV ケーブルをしっかり接続する

- AV ケーブルの白色のプラグをテレビの音声入力端子（白色）に、黄色のプラグをテレビの映像入力端子（黄色）に差し込んでください。



2 カメラの電源がオフになっていることを確認して、USB・AV OUT 兼用端子に AV ケーブルをしっかり接続する



3 テレビを「ビデオ」が表示できる状態にする（入力モードを「ビデオ」にする）

- 詳しくはテレビの説明書を参照してください。

4 POWER（電源）ボタンを押す、または ▶（再生）ボタンを長押しして、電源をオンにする

注意 --

- USB・AV OUT 兼用端子には、本カメラ専用のケーブルを接続してください。他のケーブルを接続したり、異なる端子に接続したりすると、故障の原因になります。
- AV ケーブルで本カメラを接続している間は画像モニターの表示はオフ（消えた状態）になり、スピーカーの音が消えます。
- AV ケーブルは無理に差し込まないでください。
- AV ケーブルを差し込んだ状態で、無理な力を加えないでください。
- AV ケーブルの使用中は、AV ケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。

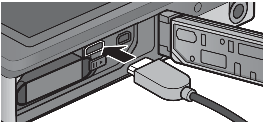
メモ

- ビデオのビデオ入力端子に AV ケーブルを接続して、撮影した内容をビデオに録画することもできます。
- テレビなどの機器での再生方式は NTSC 方式（日本などで使用されている方式）に設定されています。接続する機器が PAL 方式（ヨーロッパなどで使用されている方式）の場合は、カメラのセットアップメニューで PAL 方式に設定してから接続してください（☞P.82）。

HDMI 対応のテレビと接続するには

本製品は HDMI ケーブル（別売り）を使って、HDMI 対応のテレビと接続することもできます。詳しくは、テレビの説明書を参照してください。HDMI 接続時は、以下の点にご注意ください。

- HDMI マイクロ端子に、本カメラ専用のケーブルを接続してください。他のケーブルを接続したり、異なる端子に接続したりすると、故障の原因になります。



- HDMI ケーブルは無理に差し込まないでください。
- HDMI ケーブルを差し込んだ状態で、無理な力を加えないでください。
- HDMI ケーブルの使用中は、HDMI ケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- 一覧表示の場合に、HDMI ケーブルを抜き差しをすると、1 枚表示になります。メニュー表示中はそのままです。
- HDMI ケーブルを使ってカメラとテレビを接続している間は、操作音はカメラから鳴ります。動画再生音声はテレビから鳴ります。
- HDMI 出力時の解像度は［AUTO］に設定されています。テレビに表示される画像の解像度が低い場合は、セットアップメニューの［HDMI 出力］で設定を変更してください（☞P.83）。

撮影設定メニューでは、撮影に関する設定を変更できます。

メニューの操作方法



1 撮影モードで MENU/OK ボタンを押す

- クイック撮影メニューが表示されます。
- セットアップメニュー（☞P.78）の［クイックメニュー表示］（☞P.79）を［OFF］に設定している場合、クイック撮影メニューは表示されず、撮影設定メニューが表示されます。手順 3 に進んでください。



2 ［撮影詳細設定］を選んで MENU/OK ボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。



3 ▲▼ で設定する項目を選択する



4 ▶ を押す

- 設定項目の選択肢が表示されます。

5 ▲▼ で設定する選択肢を選択する

6 MENU/OK ボタンを押す

- 設定が確定し、撮影設定メニューが消えて撮影できる状態になります。
- ◀ を押すと、設定が確定して手順 3 の画面に戻ります。

撮影設定メニュー一覧

画質・サイズ ☞P.110

静止画の画質モード、画像サイズを設定します。

16M 4:3	4608 × 3456	14M 3:2	4608 × 3072	12M 1:1	3456 × 3456
12M 16:9	4608 × 2592	10M 4:3	3648 × 2736	5M 4:3	2592 × 1944
1M 4:3	1280 × 960	VGA 4:3	640 × 480		

***メモ*---**

設定できるサイズは撮影モードによって異なります（☞P.104）。

連写 ☞P.53

連続写真が撮影できます。

フォーカス ☞P.48

ピント合わせ（フォーカス）の方式を設定します。

測光

露出値を決めるときの測光モード（どの範囲で測光するか）を変更できます。

—	マルチ 撮影範囲全体を 256 に分割して、それぞれで測光して総合的に判断します。
[中央]	中央 中央部分に重点を置きつつ、全体を測光して判断します。
[スポット]	スポット 中央部分のみで測光して判断します。

画像設定 ☞P.52

コントラスト、シャープネス、色、彩度など画像の画質を変更できます。

超解像

［ON］に設定すると、静止画に超解像処理を行い、画像の解像感を向上させます。画像の記録完了までの時間が長くなります。

***注意*---**

動画撮影時は、超解像処理は行われません。

***表示される項目について*---**

撮影設定メニューは、通常撮影または選択したプレミアムショットのモードによって表示される項目が異なります。詳しくは P.104 を参照してください。

ホワイトバランス	☞P.51
ホワイトバランスの設定をします。	
ISO 感度	☞P.56
ISO 感度の設定をします。	
ISO AUTO 上限設定	☞P.56
［ISO 感度］を［AUTO］に設定した場合の上限感度を設定できます。ISO 感度が上がりすぎないようにする場合に使用します。	
露出補正	☞P.30
露出補正の設定をします。	
動画サイズ	☞P.45
動画の記録サイズを設定します。	
フラッシュ赤目軽減	
［ON］に設定すると、フラッシュを使用して人物を撮影するときに、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。	
プレ AF	
［ON］に設定すると、シャッターを半押ししなくてもカメラが自動的にピント合わせ動作を行います。被写体の動きを検出すると動作するため、ピントが合う速度が速くなる場合があります。	
手ブレ補正	☞P.50
［ON］に設定すると、手ブレによる画像のにじみを起きにくくします。	
日付入れ撮影	☞P.55
静止画の右下に日付（年／月／日）または日時（年／月／日　時：分）を入れることができます。	
＋通常撮影	
［ON］に設定すると、プレミアムショットの［ミニチュアライズ］、［トイカメラ］、［ハイコントラスト白黒］、［ソフトフォーカス］、［クロスプロセス］、［白黒］、［セピア］で特殊な効果をつけて撮影した画像に加え、通常撮影した画像を付加し、合計 2 枚の画像を記録します。撮影後に表示される確認画像で、右が通常画像、左が特殊な効果をつけた画像です。	
ソフトフォーカス設定	
ソフトフォーカスモードで画像をぼかす効果を［弱］、［強］から設定できます。	

色調

クロスプロセスモードで、色合いを変更する効果を［ベーシック］、［マゼンタ］、［イエロー］から選択できます。

***注意*---**

［マゼンタ］または［イエロー］を選択した場合、ホワイトバランスや露出の設定によってはマゼンタまたはイエローの効果が出ないことがあります。

周辺減光

トイカメラモード時の四隅を暗くする効果の度合いを［OFF］、［弱］、［強］から設定できます。

トイカラー

［ON］に設定すると、トイカメラモード時により彩度を高めて撮影します。

プレミアムショット設定初期化

［はい］を選んで MENU/OK ボタンを押すと、プレミアムショットのすべての設定が初期設定に戻ります。

撮影設定初期化

［はい］を選んで MENU/OK ボタンを押すと、撮影設定メニューの設定が初期設定に戻ります。

再生設定メニューでは、撮影した画像にさまざまな設定ができます。

メニューの操作方法

1 再生モードで設定を適用したいファイルを表示する

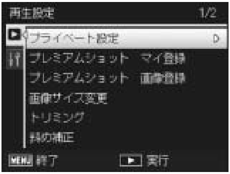
- ［プライベート設定］（☞P.76）、［スライドショー］（☞P.77）、［内蔵メモリーからカードへコピー］（☞P.77）ではこの手順は不要です。

2 MENU/OK ボタンを押す



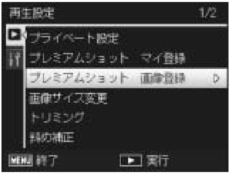
- クイック再生メニューが表示されます。
- セットアップメニュー（☞P.78）の［クイックメニュー表示］（☞P.79）を［OFF］に設定している場合、クイック再生メニューは表示されず、再生設定メニューが表示されます。手順 4 に進んでください。

3 ［再生詳細設定］を選んで MENU/OK ボタンを押す



- 再生設定メニューが表示されます。
- お気に入り再生（☞P.32）からメニューを表示した場合、［お気に入り画像順序入替え］（☞P.77）のみ表示されます。手順 5 に進んでください。
- ［プライベート設定］が［ON］に設定されている場合は［再生詳細設定］の内容を変更できません。

4 ▲▼ で設定する項目を選択する



5 ▶ を押す

- 各設定項目の画面が表示されます。

再生設定メニュー一覧

プライベート設定 ☞P.59

［ON］に設定すると、シークレット登録した画像を再生しないようにできます。

プレミアムショット マイ登録 ☞P.44

プレミアムショットで撮影した画像を使用して、画像撮影時の設定をマイ登録できます。

メモ

撮影設定メニュー（☞P.71）の［プレミアムショット設定初期化］（☞P.74）を実行すると、設定したマイ登録は初期化されます。

プレミアムショット 画像登録

選択した画像を、プレミアムショットモード選択のサンプル画像として登録できます。

メモ

撮影設定メニュー（☞P.71）の［プレミアムショット設定初期化］（☞P.74）を実行すると、設定したマイ登録は初期化されます。

画像サイズ変更

撮影または本カメラで加工した静止画の画像サイズを縮小して、画像サイズの異なるファイルを追加作成できます。

元のサイズ	変更可能なサイズ
16M 4:3 ／ 14M 3:2 ／ 12M 1:1 ／ 12M 16:9 ／ 10M 4:3 ／ 5M 4:3 ／ 4M 4:3	1M 4:3 ／ VGA 4:3
1M 4:3	VGA 4:3

注意

動画は画像サイズを変更できません。

トリミング ☞P.61

撮影した静止画をトリミングし、別のファイルとして記録できます。

斜め補正 ☞P.64

斜め方向から撮影した四角い被写体を、正面から撮影したような画像に変換できます。

スライドショー	
撮影した静止画や動画を、順番に画像モニターに表示できます。 **メモ** • 静止画は 3 秒間表示されます。 • 動画は撮影した内容がすべて表示されます。	
プロテクト	☞P.65
撮影した画像を削除できないように保護します。	
内蔵メモリーからカードへコピー	
内蔵メモリーの内容を SD メモリーカードへコピーできます。 **メモ** • コピー先の SD メモリーカードの容量が足りない場合には、容量不足を示すメッセージが表示されます。[はい] を選ぶと、保存できる枚数だけコピーできます。 • SD メモリーカードから内蔵メモリーへのコピーはできません。	
DPOF	☞P.66
プリントに必要な情報を設定します。	
お気に入り画像順序入替え	☞P.67
お気に入り再生時に表示する、画像の順番を入れ替えます。このメニューは、お気に入り再生（☞P.32）から再生設定メニューを表示している場合のみ表示されます。	

7　セットアップメニューを使いこなしたい

撮影設定メニュー（☞P.71）や再生設定メニュー（☞P.75）からセットアップメニューを表示して、カメラの設定を変更できます。

メニューの操作方法

1 MENU/OK ボタンを押す

- クイック撮影メニューまたはクイック再生メニューが表示されます。
- セットアップメニューの［クイックメニュー表示］（☞P.79）を［OFF］に設定している場合、クイックメニューは表示されず、撮影設定メニューまたは再生設定メニューが表示されます。手順 3 に進んでください。



2 ［撮影詳細設定］または［再生詳細設定］を選択して MENU/OK ボタンを押す

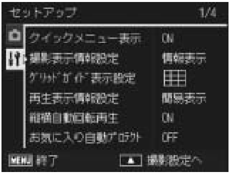
3 ◀ を押す

- タブが選択されます。

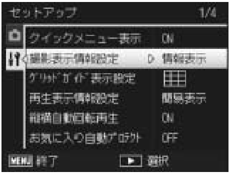
4 ▼ を押す

- タブが切り換わり、セットアップメニューが表示されます。

5 ▶ を押す

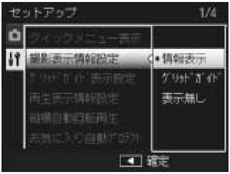


6 ▲▼ で設定する項目を選択する



7 ▶ を押す

- 設定項目の選択肢が表示されます。



8 ▲▼ で設定する選択肢を選択する

9 MENU/OK ボタンを押す

- セットアップメニューが消え、撮影または再生ができます。
- 設定項目によっては、セットアップメニューが表示されることがあります。その場合は、MENU/OK ボタンを押すと、撮影または再生画面に戻ります。
- 手順 9 で ◀ を押すと、設定が確定して手順 6 の画面に戻ります。

メモ --

機能によっては、選択肢の選択方法がここで説明する操作と異なる場合があります。詳しい操作方法は、各機能の説明を参照してください。

セットアップメニュー一覧

クイックメニュー表示

［OFF］に設定すると、クイックメニューが表示されず、直接撮影設定メニューまたは再生設定メニューが表示されます。

撮影表示情報設定

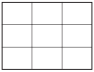
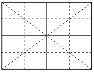
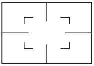
撮影時の表示状態を変更できます。

設定	イメージ	内容
情報表示		選択した撮影モードや、設定した機能のアイコンなどが表示されます。
グリッドガイド		画像モニターに、撮影時の補助線を表示します。グリッドの種類はセットアップメニューの［グリッドガイド表示設定］で選択できます（☞P.80）。
表示無し		アイコンなどが表示されず、被写体が見やすくなります。

グリッドガイド表示設定

☞P.79

撮影モード時に表示するグリッドを設定できます。

設定	内容
	縦横に 3 分割します。3 分割構図作りに適したグリッドです。
	縦横に4分割し、対角線が入ります。被写体の中心が決めやすく、建築物や商品などの撮影に適したグリッドです。
	縦横に 2 分割したものをベースに、中心はグリッド線を省いて被写体をとらえやすくしています。動きのある被写体もとらえすいグリッドです。

再生表示情報設定

再生時に表示する情報を変更できます。

設定	内容
簡易表示	ファイルの情報を表示します（☞P.18）。
詳細表示	ファイルの詳細情報を表示します（☞P.19）。
表示無し	アイコンなどを表示しません。

縦横自動回転再生

［ON］に設定すると、カメラの縦横の向きに応じて再生画像が自動回転します。

お気に入り自動プロテクト

［ON］に設定すると、お気に入り（☞P.32）に設定した画像は自動的にプロテクトされ、消去できなくなります。

画像モニター輝度調節

▲▼ で画像モニターの明るさを調整できます。

AF 補助光

［ON］に設定すると、オートフォーカスでの撮影時に、AF 補助光を発光します。

操作音

カメラの操作音の種類を設定できます。

設定	内容
すべて	すべて鳴らす
シャッター音	シャッター音のみ鳴らす

メモ--

- 実行できない動作を行おうとしたときは、[操作音] の設定にかかわらず、警告音が鳴ります。
- プレミアムショットで［ペット］を選んでいる場合は、［操作音］の設定にかかわらず、すべての音が鳴りません。

操作音音量設定

操作音の音量を変更できます。

メモ--

プレミアムショットで［ペット］を選んでいる場合は、［操作音］の設定にかかわらず、すべての音が鳴りません。

画像確認時間

撮影後に表示する確認画像の表示時間を変更できます。［HOLD］を選択すると、次にシャッターボタンを半押しするまで確認画像を表示し続けます。撮影条件によってはノイズ軽減処理が行われるため、確認時間が長くなる場合があります。確認画像表示中は、画像を削除（☞P.34）できます。

オートパワーオフ

節電のために自動的に電源がオフになる時間を設定できます。［OFF］を選択、またはパソコンまたはプリンターと接続しているとき、Eye-Fi カードを使用して画像を転送しているときはオートパワーオフ機能は働きません。

スリープモード

節電のために自動的に画面を暗くする時間を設定できます。AV ケーブルまたは HDMI ケーブルで接続中は、スリープ機能は働きません。

メモ--

スリープを設定すると、画像モニター節電機能は働きません。

画像モニター節電

［ON］に設定すると、画像モニターを点灯した状態で約 5 秒間カメラを動かさなかった場合に、節電のために画像モニターの輝度を落とします。スリープ設定時は、無効となります。

デジタルズーム切替	☞P.57

［オートリサイズ］を選択すると、デジタルズームで撮影するときに、撮影する画像から必要な部分を切り出し、画像サイズを変更して記録します。［通常］を選択すると、通常のデジタルズームと超解像ズームが使用できます。

カード連続 NO.

SD メモリーカードを入れ替えた場合のファイル名を、前のカードからの連番にするか、しないかを設定できます。

設定	内容
ON（連番にする）	R0010001.jpg 〜 R9999999.jpg までのファイル名が、自動的に付きます。SD メモリーカードを入れ替えたときにも、前のカードからの連番でファイル名が付くように設定されています。
OFF（連番にしない）	新しい SD メモリーカードをセットするたびに、RIMG0001.jpg 〜 RIMG9999.jpg までのファイル名が付きます。ファイル名が RIMG9999 になると、それ以上は記録できません。

メモ

- 内蔵メモリーに記録する場合は、常に［OFF］の場合と同様になります。
- DL-10 を使ってパソコンに転送する（☞P.94）際は、新しいファイル名に置き換えられて保存されます。

注意

ファイル名が RIMG9999 または R9999999 になると、ファイル番号が足りなくなるためそれ以上は記録できなくなります。SD メモリーカードの内容を一度パソコンなどに移し、SD メモリーカードを初期化してお使いください。

日時設定 ☞P.55

カメラの日時を設定できます。

Language ／言語 *1

画像モニターに表示される言語を変更できます。日本国内で販売されている RICOH PX で選択できる言語は、日本語と英語のみです。

ビデオ方式 *1

別売りの AV ケーブルでカメラをテレビに接続して、テレビの画面で静止画や動画を見る際のビデオ方式を設定できます。NTSC 方式（日本などで使用されている方式）と PAL 方式（ヨーロッパなどで使用されている方式）が選択できます。SECAM 方式には対応していません。

HDMI 出力

別売りの HDMI ケーブルを使って映像を出力した際の解像度を、［AUTO］、［1080i］、［720p］、［480p］から選択できます。通常は［AUTO］に設定してください。［AUTO］に設定してもテレビに表示される画像の解像度が低い場合は［1080i］、［720p］を選択すると、表示が改善される場合があります。

初期化〔カード〕 ☞P.21

［はい］を選んで ★（お気に入り）ボタンを押すと、SD メモリーカードを初期化します。

注意

Eye-Fi カードを使用する場合は、カード内のソフトウェアをパソコンにインストールしてからカードの初期化を行ってください。

初期化〔内蔵メモリー〕

［はい］を選んで ★ ボタンを押すと、内蔵メモリーを初期化します。削除したくない画像があるときは、SD メモリーカードに画像をコピーしてから初期化を行ってください（☞P.77）。

ファームウェアバージョン確認

カメラのファームウェアのバージョンを表示します。SD メモリーカードにファームアップ用のファイルがあるときは、ファームウェアのアップデートを行います

Eye-Fi 設定 *2

無線 LAN 機能を内蔵した SD メモリーカード（Eye-Fi カード）を使用している場合に［ON］に設定すると、無線 LAN 機能が動作するようになります。［OFF］に設定すると、無線 LAN 機能は停止し、通常の SD メモリーカードと同じように動作します。無線 LAN の設定や Eye-Fi カードの詳細については、Eye-Fi カードの機器の説明書などを参照してください。

Eye-Fi 接続先 ID*2

Eye-Fi カードが動作しているときに、接続先の SSID を表示します。

*1 初期設定は、仕向け地によって異なります。

*2 Eye-Fi カードを使用しているときだけ表示されます。

ダイレクトプリント機能について

ダイレクトプリント機能は、カメラとプリンターを直接 USB ケーブルで接続して、カメラ内の静止画をプリンターから印刷する機能です。撮影した静止画（JPEG）を、パソコンを使わずに手軽に印刷できます。

メモ

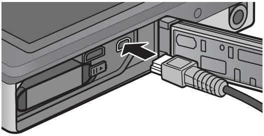
- 本カメラでは、ダイレクトプリントの統一規格である PictBridge（ピクトブリッジ）を採用しています。
- ダイレクトプリント機能を使うには、プリンターが PictBridge に対応している必要があります。ご使用のプリンターの説明書でご確認ください。

カメラとプリンターの接続

カメラとプリンターの接続には、付属の USB ケーブルを使います。

1 カメラの電源がオフになっていることを確認する

2 付属の USB ケーブルで、カメラの USB・AV OUT 兼用端子とプリンターを接続する



- プリンターの電源がオフのときは、電源をオンにしてください。
- 自動的にカメラの電源がオンになります。

3 カメラの ▲▼ で［プリンタ］を選択して、MENU/OK ボタンを押す

- プリンターと接続した場合は［PC 接続］、［充電］を選択しないでください。

注意

- USB ケーブルを無理に差し込んだり、差し込んだ状態で無理な力を加えないでください。また、USB ケーブルの使用中は、USB ケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- カメラの電源がオンの状態で USB ケーブルを外さないでください。
- 付属の USB ケーブル以外のケーブルを接続しないでください。

静止画の印刷

PictBridge 対応プリンターでカメラの静止画を印刷します。内蔵メモリーの画像を印刷したい場合は、SD メモリーカードをセットしないでください。

注意

カメラとプリンターの接続を外すときは、印刷終了後にカメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

メモ

送信中に［プリンターエラー］のメッセージが表示された場合は、プリンターの状態を確認し、印刷できる状態になるように対処してください。

1 枚またはすべての静止画を印刷する

1 印刷したい静止画を表示して MENU/OK ボタンを押す

2 ［1 ファイル］または［全ファイル］を選び、MENU/OK ボタンを押す

- ダイレクトプリントのメニューが表示されます。

3 項目を選び、▶で詳細項目を表示する

- ［接続中・・・］と表示されている間は、プリンターとの接続が完了していません。接続が完了すると［接続中・・・］が消え、［ダイレクトプリント］と表示されます。接続が完了してから、操作を行ってください。
- 選択できる項目は次のとおりです。各項目に対応しているプリンターと接続しているときのみ有効です。

項目名	内容
用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。
用紙種類	用紙の種類を設定します。
レイアウト	1 枚に何コマ印刷するかを設定します。1 枚にレイアウトできるコマ数は、接続するプリンターによって異なります。
日付印字	日付（撮影日）の印字の有無を設定します。日付の書式は、セットアップメニューの日時設定で設定した書式になります。日付入れ撮影した静止画（☞P.55）は、印刷時に自動で印字 OFF となって印刷されます。
ファイル名印字	ファイル名を印刷するかどうかを設定します。
印刷補正	画像データ（静止画）をプリンター側で最適化して印刷するかどうかを設定します。
画像印刷サイズ	印刷する画像のサイズを設定します。
印刷品質	印刷品質を設定します。
帳票印刷 *	帳票印刷を行います。
印刷部数	印刷部数を設定します。
トナーセーブ *	印刷を薄めにして、トナーを節約するかどうかを設定します。
片面／両面 *	両面で印刷するかどうかを設定します。両面印刷をする場合は、各静止画の印刷枚数は 1 枚となります。P.88 の手順 3 で印刷枚数を複数枚設定しても、1 枚のみ印刷されます。

* 各項目に対応しているリコープリンターと接続しているときのみ有効です。

メモ

- 手順 3 の画面で ★（お気に入り）ボタンを押すと、設定した項目を次回接続時の初期値に設定することができます。[はい] を選び、MENU/OK ボタンを押してください。
- [いいえ] を選ぶと、次回接続時の各項目の設定は、最後に設定した値になります。

4 詳細項目を選び、MENU/OK ボタンを押す

- ダイレクトプリントのメニューに戻ります。
- 手順 3、4 を繰り返して、変更したい項目を設定します。

5 MENU/OK ボタンを押す

- 静止画がプリンターに送られ、[送信中] 画面が表示されます。
- 送信を中断したい場合には、ꀀ（セルフタイマー）ボタンを押してください。
- 送信が完了すると、カメラはダイレクトプリント再生モードの画面に戻り、プリンターで印刷が開始されます。

複数の静止画を印刷する

1 ズームレバーを ▦（サムネイル表示）側に倒して一覧表示にする

2 印刷したい静止画を表示して MENU/OK ボタンを押す

3 ▲▼ で印刷枚数を指定する

- 上に傾けると枚数が増え、下に傾けると枚数が減ります。
- 手順 2、3 を繰り返して、印刷したい静止画をすべて選択します。

4 MENU/OK ボタンを押す

- ダイレクトプリントのメニューが表示されます。

5 項目を選び、▶ で詳細項目を表示する

- この後の手順は P.86 の手順 3 以降を参照してください。

メモ --

- プリンターのマーク（🖶）が表示されている画像が印刷されます。印刷を中止した場合はプリンターのマークの表示を確認してください。
- 1 枚の用紙に、同じ静止画を複数枚印刷することもできます。
- 選択できる項目はプリンター側の機能により異なります。
- 詳細項目で［プリンター指定］を選ぶと、プリンター側の設定値（初期値）で印刷されます。

画面の表示は、ご使用のパソコンの OS によって異なります。

Windows をご使用の場合

画像をパソコンに取り込むには、画像取り込みソフトウェア DL-10 を使用する方法と、使用しない方法があります。DL-10 は本カメラの内蔵メモリーに収録されています。
インストールを行うと、次のソフトウェアがインストールされます。

ソフトウェア名	説明
DL-10	画像をパソコンに一括取り込みします。
MediaBrowser	撮影した画像を閲覧・管理・編集することができます。

注意 --

- インストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。
- DL-10 はネットワーク環境には対応していません。スタンドアローンとしてご使用ください。

内蔵のソフトウェアを使うために必要な環境

ソフトウェアはカメラ本体の内蔵メモリに格納されています。内蔵のソフトウェアを使うためには、次の環境が必要です。ご使用のパソコンやパソコンの説明書などで、ご確認ください。

対応 OS	Windows XP Home Edition Service Pack 3（日本語版）/ Professional Service Pack 3（日本語版） Windows Vista Service Pack 2（日本語版） Windows 7 32bit 版 / 64bit 版（日本語版）
CPU	Pentium® IV：1.6GHz 以上 Pentium® M：1.4GHz 以上 Core™ 2 Duo：1.5GHz 以上
メモリー	Windows XP：512MB 以上 Windows Vista / Windows 7：1GB 以上
インストール時のハードディスクの空き容量	300MB 以上
ディスプレイの解像度	1024 × 768 ドット以上
ディスプレイの表示色	65000 色以上
USB ポート	上記パソコン本体で使用可能な USB ポート

注意 --

- Windows XP/Windows Vista の 64bit 版には対応していません。
- OS をアップグレードしたパソコンの場合、正常に USB 機能が動作しないことがあるためサポートしておりません。
- OS のシステム環境の変化やサービスパックなどのリリースにより、正しく動作しないことがあります。
- 拡張機能（PCI バスなど）を利用して増設した USB ポートへの接続はサポートしておりません。
- HUB などのほかの USB 機器との組み合わせで使用した場合、正しく動作しないことがあります。
- 動画などの大きなファイルを扱う場合は、より大きなメモリー環境で利用することをお勧めします。

ソフトウェアのインストール

付属のソフトウェアをパソコンにインストールします。

注意 --

DC Software がインストールされている状態で DC Software 2 をインストールすると、スタートアップフォルダには DC Software 2 の DL-10 が登録されます。

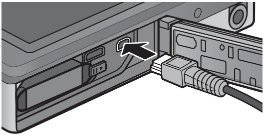
1 カメラの電源をオフにし、SD メモリーカードを取り出す

- SD メモリーカードが入っているとインストールができません。

2 付属の USB ケーブルをパソコンに接続する

3 カメラの USB・AV OUT 兼用端子に USB ケーブルを接続する

- パソコンと接続されると、カメラの電源がオンになります。



4 カメラの▲▼で［PC 接続］を選択して、MENU/OK ボタンを押す

- ［RICOHDCI（E:)］画面（E はドライブ名）が表示されます。
- 何も操作せずに 30 秒以上経過すると、自動的にカメラの充電が開始されます。充電中はカメラの操作およびパソコンとのマスストレージ接続ができないため、USB ケーブルを抜いて手順 2 からやり直してください。

5 ［デジタルカメラ ソフトウェアのインストーラを起動］をクリックし、[OK］ボタンをクリックする



- ［デジタルカメラ ソフトウェア インストーラー］画面が表示されます。

Windws 7 の場合

- ［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックし、表示されたファイル一覧から「AUTORUN.EXE」をダブルクリックします。



パソコンで画像の一括取り込みや編集を行うときに必要なソフトウェアを一括でインストールできます。

お客様情報の登録・変更を行うホームページが表示されます。

6 ［ソフトウェアのインストール］をクリックする

Windows XP の場合

- しばらくすると［設定言語の選択］画面が表示されます。

Windows Vista / Windows 7 の場合

- ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、コンピュータへのアクセス要求の［許可］（Wondows 7 は［はい］）を選択してください。タスクバーにアイコンが表示された場合は、クリックして画面を表示します。しばらくすると［設定言語の選択］画面が表示されます。

7 言語を選択し、画面に従ってインストールをする

- 続けて MediaBrowser のインストーラが起動します。インストールする場合は使用許諾に同意し、画面の指示に従ってインストールを続けてください。

8 DL-10 の［ブロックを解除する］ボタンをクリックする

- Windows 7 の場合は［アクセスを許可する］ボタンをクリックします。

9 再起動を促すメッセージが表示されたら、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択して、［完了］をクリックする

- パソコンが再起動します。
- 再起動後に Windows セキュリティの重要な警告画面が表示されます。

注意 --

- USB ケーブルを無理に差し込んだり、差し込んだ状態で無理な力を加えないでください。また、USB ケーブルの使用中は、USB ケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- カメラの電源がオンの状態で USB ケーブルを外さないでください。
- 付属の USB ケーブル以外のケーブルを接続しないでください。

ソフトウェアを削除（アンインストール）するには-----------------

- DC Software 2 または MediaBrowser をアンインストールするには、［コントロールパネル］の［プログラムのアンインストール］（Windows XP の場合は［プログラムの追加と削除］）から行ってください。
- アンインストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。
- 他のソフトウェアが起動していたり、保存していないデータがある場合は、データを保存し、ソフトウェアを終了してからアンインストールしてください。
- DC Software と DC Software 2 がインストールされた状態で DC Software 2 をアンインストールすると、スタートアップフォルダの DL-10 が削除される場合があります。

ソフトウェアのマニュアルを見る

カメラの内蔵メモリーには、画像をパソコンに取り込む方法を説明した『使用説明書（ソフトウェア編）』の PDF ファイルが収録されています。使用説明書は、パソコンにコピーして参照してください。

1 カメラがパソコンに接続された状態で［マイコンピュータ］を開く

- カメラがドライブとして表示されます。

2 ドライブの中の［MANUAL］フォルダを開く

- 各国のマニュアルの PDF が収録されています。

3 「MAN_JP.PDF」をパソコンのハードディスクにコピーする

メモ --

- PDF を表示するためには、Adobe Reader または Acrobat Reader が必要です。ソフトウェアがパソコンにインストールされていない場合は、Adobe Reader のホームページからインストールを行ってください。
  カメラから DL-10 ソフトウェアをインストールしている場合は、［スタート］→［DC Software 2］→［Adobe Reader ダウンロード］の順にクリックすると、ダウンロードのホームページが表示されます。
- Adobe Readerについては、Adobe Readerのヘルプを参照してください。

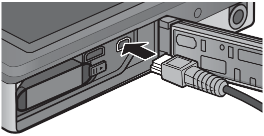
画像をパソコンに取り込む

お使いのパソコンに、撮影した画像を転送します。

注意 --

SD メモリーカードに保存されている画像を取り込む場合は、パソコンと接続する前にカメラに SD メモリーカードをセットしておいてください。

1 カメラの USB・AV OUT 兼用端子とパソコンを付属の USB ケーブルで接続する



- 接続する前は必ずカメラの電源をオフにしてください。
- パソコンと接続されると、カメラの電源がオンになります。

2 カメラの ▲▼ で［PC 接続］を選択して、MENU/OK ボタンを押す

- 何も操作せずに 30 秒以上経過すると、自動的にカメラの充電が開始されます。充電中はカメラの操作およびパソコンとのマスストレージ接続ができないため、USB ケーブルを抜いて手順 1 からやり直してください。

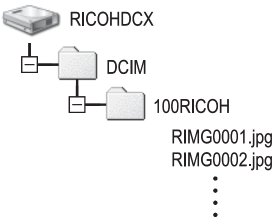
3 画像をパソコンに取り込む

DL-10 がインストールされている場合：

- DL-10 が自動的に起動して画像の転送が開始されます。
- DL-10 は［マイドキュメント］フォルダの中に自動的に［Digital Camera］フォルダを作成し、取り込んだ画像を撮影日ごとのフォルダに保存します。詳しくは『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDF ファイル）を参照してください。

DL-10 がインストールされていない場合：

- 表示されたドライブから、任意の場所にファイルをコピーします。
- SD メモリーカードがセットされているときは SD メモリーカードのファイル、SD メモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルが表示されます。



Windows XP での表示例

- ［デジタルカメラ ソフトウェア インストーラー］画面が表示されたときは、［×］をクリックしてください。

4 転送が終了したら、カメラとパソコンの接続を解除する



- タスクバーの右端にある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックしてから、［USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ（E:）を安全に取り外します］を選択します。ドライブの表示は、ご使用のパソコンによって異なります。その後 USB ケーブルを取り外してください。



- Windows 7 でアイコンが見つからない場合、タスクバーの ▲ ボタンをクリックしてください。

注意 --

画像の取り込み中は、電源をオフにしたり USB ケーブルを抜いたりしないでください。

メモ --

- 本カメラの内蔵メモリーには、パソコン内の画像を表示したり、編集したりできるソフトウェア MediaBrowser（Windows 専用）が収録されています。MediaBrowser の使い方については、MediaBrowser のヘルプからダウンロードしてください。
- MediaBrowser についての最新の情報は、株式会社ピクセラのホームページ（http://www.pixela.co.jp/oem/mediabrowser/j/）を参照してください。

Macintosh をご使用の場合

本カメラは、以下の OS に対応しています。

- Mac OS X 10.1.2 〜 10.6.6

メモ --

- Macintosh では、『使用説明書（ソフトウェア編）』を閲覧することができます。
- 『使用説明書（ソフトウェア編）』は、PDF ファイルです。カメラの内蔵メモリーの［MANUAL］フォルダから、「MAN_JP.PDF」をパソコンのハードディスクにコピーしてください。

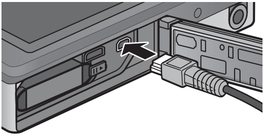
画像をパソコンに取り込む

お使いのパソコンに、撮影した画像を転送します。

注意 --

SD メモリーカードに保存されている画像を取り込む場合は、パソコンと接続する前にカメラに SD メモリーカードをセットしておいてください。

1 カメラの USB・AV OUT 兼用端子とパソコンを付属の USB ケーブルで接続する

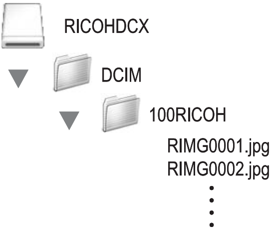


- 接続する前は必ずカメラの電源をオフにしてください。
- パソコンと接続されると、カメラの電源がオンになります。

2 カメラの ▲▼ で［PC 接続］を選択して、MENU/OK ボタンを押す

- 何も操作せずに 30 秒以上経過すると、自動的にカメラの充電が開始されます。充電中はカメラの操作およびパソコンとのマスストレージ接続ができないため、USB ケーブルを抜いて手順 1 からやり直してください。

3 画像をパソコンに取り込む



- 表示されたドライブから、任意の場所にファイルをコピーします。
- SD メモリーカードがセットされているときは SD メモリーカードのファイル、SD メモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルが表示されます。

4 転送が終了したら、カメラとパソコンの接続を解除する

- 表示されたドライブまたはボリュームのアイコンを「ゴミ箱」アイコンにドラッグアンドドロップしてから USB ケーブルを取り外してください。

注意 --

- 画像の取り込み中は電源をオフにしたり USB ケーブルを抜いたりしないでください。
- ［ファイル］メニューで［取り出し］を選択して接続を解除することもできます。
- 接続を解除しないで USB ケーブルを外すと、デバイスの取り外しの警告画面が表示される場合があります。必ず接続を解除してから USB ケーブルを取り外してください。
- Macintosh に接続すると、SD メモリーカードに「FINDER.DAT」「.DS_Store」が書き込まれる場合があり、カメラでは［表示できないファイルです。］と表示されます。気になる場合は、SD メモリーカードからこのファイルを消去しても問題ありません。

お困りのときは

エラーメッセージ

画像モニターにエラーメッセージが表示されたときは、次の参照先を確認して対処してください。

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
カードをいれてください。	カードがセットされていません。カードをセットしてください。	P.20
日付を設定してください。	日付が設定されていません。日付を設定してください。	P.55
FILE NUMBER OVER	ファイル番号の制限を超えています。他のカードをご使用ください。	P.82
表示できないファイルです	カメラでは表示できないファイルです。パソコンなどでファイルを確認し、ファイルを削除してください。	−
容量不足です。コピーしますか。	カードの容量が不足しているため、すべてのファイルをコピーできません。他のカードをご使用ください。	−
プロテクトされています	プロテクトされたファイルを削除しようとしています。	P.65
カードが書込み禁止です。	カードが「LOCK（書き込み禁止）」されています。ロックを解除してください。	P.22
プリント設定できないファイルです。	プリント設定できないファイル（動画など）です。	−
容量不足です。	ファイルを記録できません。ファイルを削除するか、空き容量を確保してください。	P.34 P.83
	画像のプリント指定枚数が制限を超えています。どれか画像を選択し、枚数を 0 にしてください。	P.88
内蔵メモリーを初期化してください。	内蔵メモリーを初期化する必要があります。	P.83
カードを初期化してください。	カードが初期化されていません。本機でカードを初期化してください。	P.83
使用できないカードです。	SDXC カードは使用できません。その他のカードの場合、再度初期化しなおしてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、カードの異常が考えられます。そのカードを使用しないでください。	P.83
メモリー書き込み中	ファイルをメモリーに書き込んでいます。書き込みが終わるまでお待ちください。	−
ファイルがありません	再生できるファイルがありません。	−
メモリー容量不足です。記録できません。	記録可能枚数が 0 枚になりました。他のカードや内蔵メモリーに切り替えてください。	P.20
○○ * できません。	このカメラで撮影した画像ではありません。撮影したカメラで処理を実行してください。また、一部に繰り返して実行できない処理があります。	−

*「○○」には画像サイズ変更やトリミング、斜め補正などが入ります。

付録

10

カメラ本体のトラブル

電源

症状	原因	処置	参照先
電源が入らない。	電池がセットされていない。または消耗している。	電池を正しくセットする。または充電する。	P.20 P.22
	使用できない電池を使用している。	専用の電池を使う。他の電池は使用しないでください。	P.21
	オートパワーオフで電源が切れている。	電源を再投入する。	P.24
	電池の方向が違う。	正しくセットする。	P.20
	カメラが高温になったため、電源が自動的に切れている。	そのまま温度が下がるまで待ち、電源を再投入する。なお、急激に温度を下げることはしないでください。	−
電源が途中で切れる。	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.24
	電池が消耗している。	電池を充電する。	P.22
	使用できない電池を使用している。	専用の電池を使う。他の電池は使用しないでください。	P.21
電源が切れない。	カメラの誤動作。	電池をセットしなおす。	P.20
充電したばかりなのに： • 電池残量が少ないことを示す電池マークが表示される。 • 電源が切れる。	使用できない電池を使用している。	専用の電池を使う。他の電池は使用しないでください。	P.21
電池を充電できない。	電池の寿命。	新しい電池に交換する。	P.20
電池の消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	−	−
	暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多い。	−	−

撮影

症状	原因	処置	参照先
シャッターボタンを押しても撮影できない。	電池が消耗している。	電池を充電する。	P.22
	電源が入っていない。	POWER（電源）ボタンを押して、電源をオンにする。	P.24
	再生モードになっている。	▶（再生）ボタンを押して撮影モードにする。	P.31
	シャッターボタンを押し切っていない。	シャッターボタンを押し切る。	P.27
	SDメモリーカードが初期化されていない。	初期化する。	P.83
	SDメモリーカードに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットする。	P.34 P.20
	SDメモリーカードの寿命。	新しいカードをセットする。	P.20
	フラッシュが充電中。	フラッシュモードのマークの点滅が終了するまで待つ。	P.29
	SDメモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.22
	SDメモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	−
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.81
画像モニターに映らない。	電源が入っていない。または画像モニターが暗い。	電源を入れる。または画像モニターの明るさを調整する。	P.24 P.80
	ビデオケーブル／AVケーブルを差した状態になっている。	ビデオケーブル／AVケーブルを抜く。	−
ピントが合わない。	レンズが汚れている。	乾いた柔らかい布できれいに拭き取る。	−
	被写体が撮影範囲枠の中央にいない。	フォーカスロックで撮影する。	P.47
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロックで撮影する。	P.47
ピントが合っていないのに、画像モニター中央に緑の枠が表示される。	被写体との距離が近すぎるため、疑合焦された。	被写体から離れて撮影する。	−
手ブレになる。（ マークが表示される）	シャッターボタンを押したときに、構えたカメラが動いた。	両ひじを身体に付けて構える。 三脚を使用する。 手ブレ補正機能を使う。	P.26 P.50
	薄暗い場所（室内など）での撮影時には、シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすくなる。	フラッシュを使用する。 ISO感度を上げる。 手ブレ補正機能を使う。	P.29 P.56 P.50

症状	原因	処置	参照先
フラッシュが発光しない。またはフラッシュの充電ができない。	フラッシュが発光禁止になる、以下の機能を使用している。 • プレミアムショットの［打ち上げ花火］、［遠景］、［ペット］ • 動画撮影 • 連写	フラッシュを発光して撮影したい場合は、設定やモードを変更する。	P.29 P.104
	フラッシュが［OFF］になっている。	フラッシュを［ON］または［AUTO］に設定する。	P.29
	電池が消耗している。	電池を充電する。	P.22
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が、フラッシュの光が届く範囲を超えている。	被写体に近づいて撮影する。ISO 感度を変更する。	P.56
	黒っぽい被写体である。	露出補正を行う。	P.30
画像が明るすぎる。	フラッシュの光量が適切でない。	被写体から少し離れて撮影するか、被写体に照明などを当ててフラッシュを発光しないで撮影する。	－
	露出がオーバーしている。（［!AE］マークが表示される）	露出補正を行う。	P.30
	画像モニターの明るさが適切でない。	画像モニターの明るさを調整する。	P.80
画像が暗すぎる。	暗いところをフラッシュ［OFF］で撮影している。	フラッシュを［ON］または［AUTO］に設定する。	P.29
	露出が不足している。（［!AE］マークが表示される）	露出補正を行う。	P.30
	画像モニターの明るさが適切でない。	画像モニターの明るさを調整する。	P.80
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影した。	被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはオートモード以外のホワイトバランスを使用する。	P.51
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示の機能で、表示なしになっている。	［撮影表示情報設定］で表示を切り替える。	P.79
AF 動作中、画像モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している。	故障ではありません。	－
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写している。	スミア現象といい、故障ではありません。	－
セルフタイマーランプが点灯しない。	プレミアムショットの［ペット］に設定している。	モードを変更する。	P.40
クイック撮影メニューが表示されない。	［クイックメニュー表示］を［OFF］に設定している。	［クイックメニュー表示］を［ON］に設定する。	P.79

再生／削除

症状	原因	処置	参照先
再生できない。または再生画面が出ない。	再生モードになっていない。	▶（再生）ボタンを押す。	P.31
	AV ケーブル／ HDMI ケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続しなおす。	P.69
	ビデオ方式の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.82
SD メモリーカードが再生できない。または再生画面が出ない。	SD メモリーカードがセットされていない。または画像が記録されていない SD メモリーカードをセットした。	記録済みのカードをセットする。	―
	本機で初期化していない SD メモリーカードを再生した。	本機で初期化し、記録したカードをセットする。	P.83 P.20
	正常に記録されていない SD メモリーカードを再生した。	正常に記録されているカードをセットする。	P.20
	SD メモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	―
	使用中の SD メモリーカードに異常がある。	記録済みの別のカードを再生し、異常がなければカメラは正常です。カードの異常が考えられるため、そのカードを使用しないでください。	―
画面が消えた。	電池が消耗している。	電池を充電する。	P.22
	何の操作もしないで放置したので、スリープまたはオートパワーオフが働いた。	なにか操作を行う。 オートパワーオフで電源がオフになった場合は電源を再投入する。	P.24
ファイルを削除できない。	プロテクトが設定されている。	プロテクトを解除する。	P.65
	［お気に入り自動プロテクト設定］が［ON］に設定されている。	［お気に入り自動プロテクト設定］を［OFF］に設定するか、お気に入りのレートを★なしにする。	P.80 P.32
	SD メモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.22
SD メモリーカードを初期化できない。	SD メモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.22
クイック再生メニューが表示されない。	［クイックメニュー表示］を［OFF］に設定している。	［クイックメニュー表示］を［ON］に設定する。	P.79
再生設定メニューで表示されるメニューが少ない	お気に入り再生モードから再生設定メニューを表示している	通常再生から再生設定メニューを表示する。	P.75

その他

症状	原因	処置	参照先
SD メモリーカードが入らない。	挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.20
カメラのボタンを操作しても作動しない。	電池が消耗している。	電池を充電する。	P.22
	カメラの誤動作。	POWER（電源）ボタンを押して、いったん電源をオフにし、再度 POWER（電源）ボタンを押して、電源をオンにする。	P.24
		電池をセットしなおす。	P.20
日付が正しくない。	正しい日付・時刻が設定されていない。	正しい日付・時刻を設定する。	P.55
設定した日付が消えてしまった。	電池を抜いてしまった。	電池を取り出した状態が約 1 週間以上続くと、日付がリセットされるので、再度、設定しなおす。	P.55
オートパワーオフが働かない。	オートパワーオフが［OFF］になっている。	オートパワーオフの時間を設定する。	P.81
操作音が鳴らない。	プレミアムショットの［ペット］に設定している。	モードを変更する。	P.40
	消音が設定されている。	［操作音音量設定］で音量なし以外を設定する。	P.81
テレビに映らない。	ビデオ方式の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.82
	ケーブルが接続されていない。	ケーブルを正しく接続しなおす。	P.69
	出力先のビデオ入出力スイッチの設定が間違っている。	出力先のビデオ入出力スイッチが正しいか確認する。	ー

各撮影モードで設定できる機能

各撮影モードで設定できる機能は以下のとおりです。

		通常撮影	PREMIUM						
			P						
⚡（フラッシュ）		○	○	○[*1]	○[*1]	○	○[*1]	○	○
⏲（セルフタイマー）		○	○	○	○	○[*2]	○	○[*2]	○[*2]
デジタルズーム		○	○	○	○	—	○	○	○
撮影設定メニュー	画質・サイズ	○	○	○	○	—[*3]	○	○	○[*4]
	連写[*7][*8]	○	○	—	—	—	—	—	—
	フォーカス[*9] [*10]	—	○	—	○	○	○	—	—
	測光	—	○	—	—	—	—	○	○
	画像設定	—	○	—	—	—	—	—	—
	超解像	—	○	—	—	—	—	—	—
	ホワイトバランス	—	○	—	○	○	—	—	—
	ISO 感度	—	○	○	—	—	—	○	○
	ISO AUTO 上限設定	—	○	○	—	—	—	○	○
	露出補正	○	○	○	○	○	○	—	—
	動画サイズ	○	○	○	○	○	○	○	○
	フラッシュ赤目軽減	○	○	—	—	—	—	—	—
	ブレ AF	○	○	—	○	○	○	○	○
	手ブレ補正	—	○	○	○	—	○	○	○
	日付入れ撮影	○	○	○	○	○	○	○	○
	＋通常撮影	—	—	—	—	—	—	—	—
	ソフトフォーカス設定	—	—	—	—	—	—	—	—
	色調	—	—	—	—	—	—	—	—
	周辺減光	—	—	—	—	—	—	—	—
	トイカラー	—	—	—	—	—	—	—	—
	プレミアムショット設定初期化	○	○	○	○	○	○	○	○
	撮影設定初期化	○	—	—	—	—	—	—	—

*1　ON/AUTO では赤目軽減のみ使用可能
*2　［集合写真］は選択不可
*3　［4M 4:3］に固定
*4　［14M 3:2］、［12M 16:9］は選択不可
*5　［1M 4:3］に固定
*6　［1M 4:3］または［VGA 4:3］のみ選択可
*7　連写／S 連写／ M 連写のときは、［ホワイトバランス］を［マルチパターン AUTO］に設定していても、［AUTO］として動作。フラッシュは発光禁止
*8　S 連写／ M 連写のときは、ISO 感度を［ISO100］、［ISO200］に設定しても［AUTO］として動作。［画質・サイズ］は［16M 4:3］に固定
*9　［マルチ AF］を選択していても、デジタルズーム時は［スポット AF］として動作
*10［顔優先マルチ AF］使用時は、ホワイトバランスは自動で最適なものが選択され、アイコンは非表示。顔が認識されなかった場合は［マルチパターン AUTO］として動作

付録
10

凡例：
○：機能を設定できます。
—：機能を設定できません。

	PREMIUM															
	[icon]	[icon]	[icon]	[icon]	[icon]	[icon]	[icon]	[icon]	[icon]	mini	Toy	Hi BW	Soft	[icon]	BW	SP
	○	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
	○ *2	○ *2	○	○	○ *2	○ *2	—	○ *2	○ *2	○ *2	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	— *5	○ *6	○	○	○	○	○	○	○	○
	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○
	○	—	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
	○	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	○	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○	—	○	○	—	—
	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○
	○	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

主な仕様

カメラ本体

カメラ部有効画素数		約 1600 万画素
撮像素子		1/2.3 型 CCD（総画素数約 1640 万画素）
レンズ	焦点距離	5 ～ 25mm（35mm 換算値 28 ～ 140 mm）
	F 値	F3.9 ～ F5.4
	撮影距離	通常撮影：約 3cm ～∞（広角）、約 50cm ～∞（望遠）、約 3cm ～∞（拡大鏡）（レンズ先端から）
	レンズ構成	10 群 13 枚
ズーム倍率 [*1] [*2]		光学ズーム 5.0 倍、超解像ズーム 2.0 倍、デジタルズーム 4.8 倍、オートリサイズズーム約 7.2 倍（画像は VGA）
フォーカスモード		マルチ AF（コントラスト AF 方式）／スポット AF（コントラスト AF 方式）／顔優先マルチ AF ／被写体追尾 AF（AF 補助光あり）
ブレ補正機能		イメージセンサーシフト方式ブレ補正機能
シャッタースピード	静止画	8 秒、4 秒、2 秒、1 ～ 1/2000 秒（撮影モード、フラッシュモードによりシャッタースピードの上限と下限が変わります。）
	動画	1/30 ～ 1/2000 秒
露出制御	測光モード	マルチ（256 分割）／中央重点測光／スポット測光
	露出制御モード	プログラム AE
	露出補正	マニュアル補正（+2.0 ～ -2.0EV 1/3EV ステップ）
	露出連動範囲（オート撮影モード・中央重点測光時）	広角 :3.2 ～ 17.7EV 望遠 :4.1 ～ 19.4EV (ISO AUTO の連動範囲を ISO 100 の EV 値にて換算） ※ 6.0EV 以下の環境下では 1.0EV 下がるごとに 0.5EV 低輝度側にシフトして撮影されます。シフト量は最大で -1.0EV までとなります。
ISO 感度（標準出力感度）		AUTO ／ ISO 100 ／ ISO 200 ／ ISO 400 ／ ISO 800 ／ ISO 1600 ／ ISO 3200
ホワイトバランスモード		オート／マルチパターン AUTO ／屋外／曇天／白熱灯 1 ／白熱灯 2 ／蛍光灯／手動設定
フラッシュ	フラッシュモード	AUTO ／強制発光／発光禁止 （赤目軽減は［フラッシュ赤目軽減］で設定可）
	調光範囲	約 20cm ～ 3.5m（広角）、約 50cm ～ 3.0m（望遠） (ISO AUTO ／ ISO AUTO 上限設定 1600、レンズ先端から）
	充電時間	約 5 秒
画像モニター		2.7 型 透過型液晶、約 23 万ドット

撮影モード		通常撮影モード／動画モード／プレミアムショット（Pモード／ポートレート／夜景ポートレート／手持ち夜景／パーティ／料理／スイーツ／拡大鏡／遠景／ビーチ／スノー／スポーツ／打ち上げ花火／オークション／斜め補正／ペット／ミニチュアライズ／トイカメラ／ハイコントラスト白黒／ソフトフォーカス／クロスプロセス／白黒／セピア）
記録画素数	静止画	4608 × 3456、4608 × 3072、3456 × 3456、4608 × 2592、3648 × 2736、2592 × 1944、2304 × 1728、1280 × 960、640 × 480
	動画	1280 × 720、640 × 480
記録媒体		SD メモリーカード、SDHC メモリーカード（32GB まで）、内蔵メモリー（約 40MB）
記録データ容量	4608 × 3456	約 5842KB ／画面
	4608 × 3072	約 5196KB ／画面
	3456 × 3456	約 4389KB ／画面
	4608 × 2592	約 4402KB ／画面
	3648 × 2736	約 3685KB ／画面
	2592 × 1944	約 2292KB ／画面
	2304 × 1728	約 1838KB ／画面
	1280 × 960	約 817KB ／画面
	640 × 480	約 202KB ／画面
画像ファイル形式	静止画	JPEG（Exif ver2.3）*3
	動画	AVI（Open DML Motion JPEG フォーマット準拠）
	圧縮方式	JPEG ベースライン方式準拠（静止画、動画）
その他主要撮影機能		連写、セルフタイマー（作動時間：約 10 秒／約 2 秒／集合写真）、グリッドガイド表示
その他主要再生機能		一覧表示、お気に入り表示、プライベート設定、画像サイズ変更、斜め補正、トリミング、スライドショー、DPOF設定
外部インターフェース		USB2.0（High-Speed USB）・オーディオビジュアル（AV）端子、マスストレージ対応 *4、AV OUT 1.0Vp-p（75 Ω）、HDMI マイクロ出力端子（Type D）
ビデオ信号方式		NTSC、PAL 切り替え
電源		電池（DB-100）：3.7V
電池寿命 *5		CIPA 規格準拠　DB-100 使用時：約 300 枚 （[スリープモード］が［OFF］のとき *6）
外形・寸法		100mm（幅）× 55mm（高さ）× 21.3mm（奥行き）（CIPA ガイドラインによる）
質量		約 156g（付属電池および SD メモリーカードを含む） 約 136g（本体のみ）
三脚ネジ穴形状		1/4-20UNC
デート保持時間		約 1 週間
防水・防塵		JIS/IEC 防水保護等級 8 級、JIS/IEC 防塵保護等級 6 級（IP68） 水深 3m 以下で、連続 60 分まで水中で使用可能
使用温度範囲		0℃～ 40℃

使用湿度範囲	90% 以下
保存温度範囲	-20℃～ 60℃

*1 ズームを使用しているときの最短撮影距離と撮影範囲は以下のとおりです。

ズーム位置	焦点距離 *	最短撮影距離（レンズ先端より）	撮影範囲
広角時	28mm	約 3cm	約 46 × 35mm
望遠時	140mm	約 50cm	約 142 × 107mm（超解像ズーム・デジタルズーム未使用時）
	280mm	約 50cm	約 71.0 × 53.3mm（超解像ズーム 2 倍、デジタルズーム未使用時）
	1344mm	約 50cm	約 14.8 × 11.1mm（超解像ズーム 2 倍、デジタルズーム 4.8 倍時）

*35mm 判カメラ換算値

*2 ［拡大鏡］を使用しているときは、次の距離までの近接撮影ができます。最短撮影距離は、すべてレンズ先端より約 3cm です。

焦点距離 *	撮影範囲
28mm	約 46 × 35mm
56mm	約 23.2 × 17.4mm（超解像ズーム 2 倍、デジタルズーム未使用時）
269mm	約 4.8 × 3.6mm（超解像ズーム 2 倍、デジタルズーム 4.8 倍時）

*35mm 判カメラ換算値

*3 DCF 準拠、DPOF 対応。DCF は JEITA で標準化された Design rule for Camera File system の略称です（機器間の完全な互換性を保証するものではありません)。

*4 マスストレージは、Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Mac OS X 10.1.2 ～ 10.6.6 に対応しています。

*5 撮影可能枚数は CIPA 規格に準じた測定条件によるもので、目安となります。使用条件により大きく異なります。

*6 ［スリープモード］が［10 秒］の場合は、約 320 枚となります。

電池（DB-100）

公称電圧	3.7V
定格容量	950mAh(Min. 値)、1000mAh(Typ. 値)
使用温度	0℃～＋ 40℃
本体外形寸法	34.2 × 37.5 × 6.8mm
質量	約 19g

海外でお使いのときは

USB 電源アダプター / 充電器（型名：BJ-10）について

交流 100 ～ 240V、50Hz/60Hz の地域でご使用になれます。
電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントに合った変換アダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器は使用しないでください。故障の原因となるおそれがあります。

保証書について

本製品は国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

再生などで現地のテレビを使用する場合

映像入力端子付きのテレビ（またはモニター）で再生することができます。別売りの AV ケーブルをご使用ください。
本機では、テレビ方式は NTSC と PAL に対応しています。現地のテレビ環境に合わせて、カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。
海外へお出かけの際は、ビデオ方式をご確認の上、ご使用ください。

内蔵メモリー／ SD メモリーカードの記録可能枚数

内蔵メモリー／ SD メモリーカードの容量別、画質／サイズ別の記録可能枚数の目安は、次のとおりです。

モード	画像サイズ	内蔵	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
通常撮影 プレミアムショット （手持ち夜景、オークション以外）	16M 4:3	6	153	312	612	1252	2508	5032
	14M 3:2	7	173	351	689	1409	2823	5664
	12M 1:1	8	204	415	815	1666	3339	6698
	12M 16:9	8	204	415	815	1666	3339	6698
	10M 4:3	10	242	491	965	1973	3953	7930
	5M 4:3	15	373	758	1490	3045	6101	12238
	1M 4:3	43	1059	2118	4160	8505	17039	34181
	VGA 4:3	169	4028	7681	15082	30828	61759	123888
動画	HD 1280	7 秒	3 分 3 秒	6 分 14 秒	12 分 14 秒	25 分 1 秒	50 分 7 秒	100 分 33 秒
	VGA 640	22 秒	8 分 55 秒	18 分 8 秒	35 分 38 秒	72 分 50 秒	145 分 54 秒	292 分 41 秒
S 連写 / M 連写	16M 4:3	6	153	312	612	1252	2508	5032
プレミアムショット （手持ち夜景）	4M 4:3	19	465	945	1856	3795	7602	15251
プレミアムショット （オークション）	1M 4:3	93	2237	4389	8619	17617	35294	70800

メモ

- 動画の記録可能時間は、合計の記録可能時間の目安です。1 回の撮影で記録可能な動画は、最大 4GB または最長約 29 分です。
- ［動画サイズ］を［HD 1280］に設定して動画を撮影する場合は、SD スピードクラスが Class6 以上の SD/SDHC メモリーカードのご使用をお勧めします。
- 連写の最大連続撮影可能枚数は、999 枚です。残り記録枚数が 1000 枚以上ある場合でも、画像モニターには「999」と表示されます。
- 画像モニターに表示される残り記録枚数は、撮影する被写体によってファイル容量が増減するため、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 静止画の撮影可能枚数や動画の記録時間は、記録先（内蔵メモリーまたは SD メモリーカード）の容量や撮影条件、SD メモリーカードのメーカーや種類によって異なることがあります。
- 画像サイズは用途に合わせて選択してください。

画像サイズ	向いている用途
16M 4:3 ／ 14M 3:2 ／ 12M 1:1 ／ 12M 16:9 ／ 10M 4:3	• 大きくプリントする • パソコンに取り込んでトリミングなどの加工を行う
5M 4:3	• プリントする
1M 4:3	• 枚数を多く撮る
VGA 4:3	• 枚数を多く撮る • メールに添付する • ホームページ用の画像として使用する

初期値／電源オフで初期値に戻る機能

電源をオフにすると、機能によって設定値がリセットされ、初期値に戻るものがあります。次の表は、電源をオフにしたときの設定値の保持／リセットについて示しています。

設定値の保持：○　　初期設定値に戻る：×

	機能		初期値
撮影	画質・サイズ	○	16M 4:3
	画質・サイズ（スイーツ）	○	12M 1:1
	画質・サイズ（斜め補正）	○	1M 4:3
	連写	×	OFF
	フォーカス	○	マルチ AF
	測光	○	マルチ
	画像設定	○	スタンダード
	超解像	○	OFF
	ホワイトバランス	○	マルチパターン AUTO
	ISO 感度	○	AUTO
	ISO AUTO 上限設定	○	AUTO1600
	露出補正	○	0.0
	動画サイズ	○	HD 1280
	フラッシュ赤目軽減	○	OFF
	プレ AF	○	ON
	手ブレ補正	○	ON
	日付入れ撮影	○	OFF
	＋通常撮影	○	OFF
	ソフトフォーカス設定	○	強
	色調	○	ベーシック
	周辺減光	○	弱
	トイカラー	○	ON
	プレミアムショット	○	料理
	セルフタイマー	×	セルフ　オフ
	色、明るさ調整 （料理、スイーツ、オークション）	○	明るさ：0、 色：中央
	ぼかし領域（スイーツ）	○	四角
	レイアウト（オークション）	○	1 枚
	露出時間設定（打ち上げ花火）	○	4 秒
	エリア設定（ミニチュアライズ）	×	広さ：中央、 位置：中央

設定値の保持：○　初期設定値に戻る：×

	機能		初期値
再生	音量	○	－
セットアップ	クイックメニュー表示	○	ON
	撮影表示情報設定	○	情報表示
	グリッドガイド表示設定	○	
	再生表示情報設定	○	簡易表示
	縦横自動回転再生	○	ON
	お気に入り自動プロテクト	○	OFF
	画像モニター輝度調節	○	－
	AF 補助光	○	ON
	操作音	○	すべて
	操作音音量設定	○	■■□（中）
	画像確認時間	○	0.5 秒
	オートパワーオフ	○	5 分
	スリープモード	○	OFF
	画像モニター節電	○	ON
	デジタルズーム切替	○	通常
	カード連続 NO.	○	OFF
	日時設定	○	－
	Language ／言語	○	*1
	ビデオ方式	○	*1
	HDMI 出力	○	AUTO
	Eye-Fi 設定	○	ON

*1 初期設定値は、仕向け地によって異なります。

付録

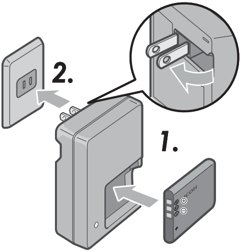
10

別売り品について

充電器 BJ-10

充電池 DB-100 を充電できます。電池の⊕⊖印と充電器の⊕⊖印を合わせてセットして充電してください。

充電ランプの表示は下表のとおりです。充電が終了したら、コンセントから抜いてください。



充電ランプ	説明
点灯	充電開始
消灯	充電完了
点滅	充電器の端子汚れ、または充電器／電池の異常。充電器をコンセントから抜いて、電池を取り外してください。

- 電池の充電時間の目安は、約 180 分（25℃）です。電池の残量により充電時間は異なります。

注意 --

- 指定以外の電池を使用した場合、破裂のおそれがあります。
- 使用済の電池は電気店またはスーパーなどに置いてあるリサイクルボックスに入れてください。
- 弊社専用リチウムイオンバッテリー DB-100 シリーズ以外の電池は、ご使用にならないでください。
- 弊社専用電源コードは、当製品以外に転用しないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 極端に暑いところや寒いところ、振動の激しいところでは使用しないでください。
- 直射日光の当たるところや、高温になるところで使用しないでください。
- 充電終了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておくと火災の原因になることがあります。
- 充電式電池の接続部や接点部に他の金属が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- BJ-10 の使用温度範囲は 10℃～ 40℃です。10℃以下でご使用になると、充電が長時間になる、または充電できない場合があります。

使用上のご注意

カメラ本体

防水機能について

- 本機は、JIS/IEC 防水保護等級 8 級、JIS/IEC 防塵保護等級 6 級（IP68）に対応しています。
- 水深 3m を超えて、または水中で連続 60 分を超えて使用しないでください。
- 雨中撮影や水洗いした後に、カバーの合わせ目などから水がしみ出てくる場合がありますが、カバーが 2 重構造になっているためであり心配はありません。
- カメラ内部は、防水、防塵構造になっていません。
- 万一カメラ内部に浸水したときは、すぐに電池を抜き取り、リコー修理受付センターにご連絡ください。

使用上のご注意

- 電池／カードカバーを開閉する場合は、カメラに付着した水滴や砂、泥、ホコリなどの汚れを繊維くずの出ない布で十分に拭き取って、内部に入らないよう注意してください。また、水や砂が入ることがあるため、浜辺、海上、湖畔、砂地等では開閉はできるだけ避けてください。
- 電池／カードカバーを開けたとき、内側表面に水滴がつくことがあります。必ずきれいに拭き取ってからご使用ください。
- 密閉した自動車の中や海辺、浴室など、異常に温度の上がるところや湿度の高いところにカメラを放置しないでください。
- カメラ内部に異物（金属、水、液体）が入ったときは、すぐに使用をやめてください。次に電源を切って電池とメモリーカードを取り出し、お買い上げ店またはリコー修理受付センターにご相談ください。
- 使用前に、電池／カードカバーが確実にロックされていることを確認してください。
- 本製品は国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
- 外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- カメラを持ち運ぶときは、本体に衝撃を与えないようにしてください。特にレンズや画像モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
- フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。
- 火傷や発火の原因になりますので、フラッシュ発光部に触れたり、ものを密着させたままフラッシュを発光させないでください。
- 視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させないでください（特に乳幼児）。
- 事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。
- 電池をご使用の場合、カメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さないでください。

- 画像モニターに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなることがあります。
- 画像モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- 画像モニターを強く押さないでください。
- 温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。結露が発生した場合は、カメラから電池とメモリーカードを取り出し、水滴が消えるまで待ってから使用してください。
- 故障の原因になりますので、マイク、スピーカーの穴に針等を通さないでください。
- 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに、使用説明書や予備の電池の携帯等をお勧めいたします。

結露の発生しやすい状態

- 急激な温度差のあるところに移動したとき
- 湿気の多いとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接当たるとき

電池

- この電池には防水性能はありませんので、水に濡らさないでください。
- この電池はリチウムイオンタイプです。
- 出荷時にはフル充電されていませんので、ご使用になる前に必ず充電してください。
- 寒いところでは、電池の特性上、十分に充電されている電池を使用していても、使用時間が短くなります。電池をポケットに入れるなどして暖かくしておいたり、予備の電池を用意するなどしてください。
- 使用しない時は必ず電池をデジタルカメラや、充電器から取り外してください。つけたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなるおそれがあります。なお、カメラから電池を取り出して 1 週間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。ご使用の際には、再度、設定しなおしてください。
- 長期間保存する場合は、年に 1 回、30 分程度充電した後、保存してください。
- 涼しいところで保存してください。周囲の温度が 15℃～ 25℃の乾燥したところをお勧めします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。
- 充電が完了した電池をすぐに再充電しないでください。
- 充電は周囲の温度が 10℃～ 40℃の温度範囲で行ってください。高温で充電すると電池を劣化させるおそれがあります。また､低温で充電すると､十分な充電ができません。
- 十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命と思われますので、新しい電池をお求めください。
- 充電時間は付属の USB 電源アダプター AC-U1 使用時は、約 160 分（25℃）です。別売の BJ-10 使用時は、約 180 分（25℃）です。

お手入れと使用／保管場所について

お手入れ

- レンズに指紋や汚れが付くと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
- レンズにゴミや汚れが付いたときは、直接手を触れず市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽く拭き取ってください。特に鏡胴周りはご注意ください。
- 本機が汚れたときや海辺で使用した後は、電池／カードカバーが確実に閉まっていることを確認し、洗面器などにためた水道水（真水）で汚れ、砂、塩分を落とし、乾いた繊維くずの出ない布で水分を拭き取ったあと風通しの良い日陰で乾燥させてください。水中での使用後、水道水（真水）にさらさないまま放置しないでください。カメラの外観不良や防水性能劣化の原因となります。
- ゴムパッキンが汚れたときは、繊維くずの出ないきれいな布で拭き取ってください。ゴムパッキンに砂等の異物が付着していたり、キズ等があると防水機能を保てず水漏れの原因となります。汚れが落ちないときやキズ等があるときは、お買い上げ店またはリコー修理受付センターに新しいゴムパッキンとの交換を依頼してください。
- 防水効果を維持するため、ゴムパッキンは汚れ、異常の有無にかかわらず、2 年ごとに交換してください。頻繁に水、砂、ホコリの中で使用する場合は、1 年ごとの交換をお勧めします。
- 万一カメラの具合が悪いときは、リコー修理受付センターにご相談ください。
- このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
- シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 画像モニターの表面は、傷つきやすいので、かたい物でこすったりしないでください。
- 画像モニターの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されているクリーナー（有機溶剤の含まれていないもの）を、柔らかい布に少量含ませて軽く拭き取ってください。

使用／保管場所について

- 次のような場所での使用および保管は、カメラの故障の原因となりますので避けてください。

  高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
  砂、ほこり、ちりの多い場所
  振動の激しいところ
  防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
  強い磁場の発生するところ（モニター、トランス、磁石のそばなど）
- カメラにゴミやホコリが付着しないよう、ゴミ、ケバの発生しないカメラケースなどに入れて保管してください。また、持ち運ぶ際はゴミ、ケバの付着を防止するため、ポケットなどに直接入れないでください。
- 長時間本機をご使用にならないときは、電池を取り出して保管してください。

お手入れ時のご注意

（1）必ず電源をオフにしてください。

（2）電池を取り外して、お手入れしてください。

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、保証書に記載された保証期間内で無料修理いたしますので、当社修理受付窓口かお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理にご持参いただく際の諸費用はお客様にご負担願います。
2. 以下の場合は、上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
   ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障
   ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
   ③ 火災、天災、地変、落雷、異常電圧などによる故障
   ④ 電池／カードカバーを開けた状態での、浸水、泥入、砂入などや、塩害、落下、衝撃、圧力などにより生じた自然故障以外の故障
   ⑤ 保管上の不備（使用説明書に記載）、電池などの液漏など、カビ発生、手入れの不備などによる故障
   ⑥ 保証書の添付のない場合
   ⑦ 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証書に記載された保証期間経過後は、本カメラに関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
5. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
6. メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについて一切の保証はできませんので、修理にお出しになる場合には、データのバックアップをお取りください。
7. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害を始めとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
   国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
9. 販売店が独自に設けている延長保証は、本カメラの保証規定には適用されません。
10. 本カメラの補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、5 年を目安に保有しております。
11. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下などで損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるものなどは修理できない場合もあります。ご了承ください。
12. 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。

修理にお出しになる前

- 電池の消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- ホームページに最新の情報が掲載されていますのであわせてご確認ください。ホームページのアドレスは、使用説明書の巻末に記載されています。

修理にお出しになる際

- 故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- 修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。

索引

記号・英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

保証規定

1. 本製品が万一故障した場合はご購入日から満 1 年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か当社修理受付窓口にお申し出ください。なお、お買い上げ店または当社修理受付窓口にご持参いただく際の諸費用は、お客様にご負担願います。
2. 以下の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
   (1) 使用上の誤り（使用説明書以外の誤操作など）により生じた故障
   (2) 当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
   (3) 火災、天災、地変、落雷、異常電圧などによる故障
   (4) 電池／カードカバーを開けた状態での、浸水、泥入、砂入などや、塩害、落下、衝撃、圧力などにより生じた自然故障以外の故障
   (5) 保管上の不備（使用説明書に記載）や、カビ発生、手入れの不備などによる故障
   (6) 裏面の保証書（以下、本保証書と記す）の添付のない場合
   (7) 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証の対象となる部分は本体のみでストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象とはなりません。
4. メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについて一切の保証はできませんので、修理にお出しになる場合には、データのバックアップをお取りください。
5. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害を始めとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
6. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
7. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   （This warranty is valid only in Japan）
   国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
8. 本保証書は再発行いたしません。

ご注意

＊当製品の修理に関するお問い合わせは、販売店または当社修理受付窓口までご連絡ください。
＊本保証書をお受け取りの際は、販売店名および購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。もし、記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げ店へお申し出ください。
＊部品の保有期間等アフターサービスに関する事項については、「アフターサービスについて」をご覧ください。
＊保証期間経過後の修理等についてのお問い合わせは、当社修理受付窓口をご利用ください。
＊修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。
＊販売店が独自に設けている延長保証は、当保証規定には適用されません。
＊本保証書は上記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

1. 「リコー修理受付センター」ならびに「カメラサービスセンター」では、デジタルカメラの故障に関する事項、修理期間等のお問い合わせに限らせていただきます。
2. 修理以外の、製品に関する機能・性能、使用方法のお問合せは、「リコーお客様相談センター」までお願い申し上げます。
3. 修理に関する詳細につきましては、本使用書の「保証規定」ならびに、「アフターサービスについて」をご一読いただきますようお願いします。
4. 「リコー修理受付センター」ならびに各「リコーカメラサービスセンター」への修理のお申し込みは、日本国内のみ有効です。

「環境対応」から「環境保全」、そして「環境経営」へ。



リコーは地球環境に配慮した活動も積極的に推進し、かけがえのない地球の一市民として、環境保全活動も経営の重要課題として積極的に推進しています。

デジタルカメラについても環境負荷削減を目指し、「消費電力削減」、製品に含有される「環境影響化学物質削減」などに取り組んでいます。

Li-ion 00

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

ホームページによる情報提供

■ **製品情報**
http://www.ricoh.co.jp/dc/

■ **Ricoh Photo Style（活用&コミュニティ）**
http://www.ricoh.co.jp/dc/photostyle/

■ **サポート総合案内**
http://www.ricoh.co.jp/dc/support/

■ **修理総合案内（修理料金概算などの修理全般の情報）**
http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/

お困りのときは

使用説明書の「お困りのときは」をご覧ください。問題が解決しないときには、下記にてご確認ください。

■ **よくあるご質問（FAQ）**
製品の操作・活用について　http://www.ricoh.co.jp/dc/support/faq/
故障かなと思ったら　http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/faqs/

■ **リコーお客様相談センター**
ホームページ受付　http://www.ricoh.co.jp/dc/support/contact/
0120 FreeDial 電話 0120-000475　FAX 0120-479417
受付時間：9:00 ～ 18:00（土曜、日曜、祝祭日、弊社休業日を除く）
※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

■ **「MediaBrowser」について**
株式会社ピクセラ
0120 FreeDial フリーダイヤル：0120-727-231
電話：06-6633-2990（携帯・PHS 等フリーダイヤルが利用できない方用）
受付時間：月曜日～日曜日 10:00 ～ 18:00
（年末年始、祝祭日、株式会社ピクセラ指定休日は除く）

修理受付

■ **ホームページ／電話による修理受付**（梱包材と宅配伝票をお送りして修理品をお引き受けします）

リコー修理受付センター（リコーテクノシステムズ株式会社）
< ホームページ受付 > http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/mail.html
0120 FreeDial < 電話受付 > 0120-053956　受付時間：9:00 ～ 17:00
（土曜、日曜、祝祭日、年末年始、夏期休暇はお休みさせていただきます）
※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

■ **持ち込みによる修理受付**（土曜、日曜、祝祭日、年末年始、夏期休暇はお休みさせていただきます）

リコー銀座カメラサービスセンター
〒 104-0061　東京都中央区銀座 6-14-7 第 3 リコービル 1 階
受付時間：9:30 ～ 17:00　電話：03-3543-4187

リコー大阪カメラサービスセンター
〒 564-0053　大阪府吹田市江の木町 34-5 リコービル 7 階
受付時間：9:30 ～ 17:00　電話：06-6338-9092

株式会社リコー
〒 104-8222
東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル
2011 年 4 月

Jp JA Printed in China

L762 1971A